

令和 6 年度

決 算 説 明 資 料

秋 田 県 仙 北 市

主要な施策の成果を説明する書類

1 総括

令和6年度の市財政は、歳入面では、ふるさと仙北応援寄附金の増、財源不足によるふるさと仙北応援基金からの繰入金の増、電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金事業費補助金の皆減、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の皆減となっています。歳出面では、ふるさと仙北応援寄附金収入の増加に伴う関連事業費の増、庁舎整備事業費の皆増、定額減税補足給付金事業費の皆増、また、性質別決算構成比では扶助費及び補助費等が高水準で推移していることにより財源不足が見込まれました。

国では、経済財政運営と改革の基本方針2023において、人、グリーン・デジタル、新規創業、科学技術、インバウンド戦略へ重点投資する方針を掲げるとともに、財政健全化の目標に取り組むこととしています。

このような状況を踏まえ、令和6年度の市財政運営に当たっては、市民の安心・安全な生活を守りつつ地域発展施策を展開するために国県補助金等を活用し、より効率的な市政運営と安定的な行政サービスの提供に努めました。

本年度の事業の概要及び効果等については、次の主要施策実績表のとおりです。

2 一般会計の決算状況

(1) 令和6年度の一般会計決算は「第1表」のとおりです。

一般会計の決算額は、歳入総額 259 億 1,952 万 9 千円、対前年度比 18 億 5,883 万 5 千円増（7.7%増）、歳出総額 252 億 4,426 万 4 千円、対前年度比 16 億 6,511 万 9 千円増（7.1%増）で、歳入歳出差引額は 6 億 7,526 万 5 千円の黒字となっています。

歳入歳出差引額のうち翌年度に繰り越すべき財源は 5,173 万 5 千円（継続費繰越額 180 万 8 千円、繰越明許費繰越額 4,992 万 7 千円）で、実質収支額は 6 億 2,353 万円の黒字となっています。

(2) 歳入決算額の状況は「第2表」のとおりです。

歳入項目別決算構成比では、地方交付税が 35.2%（決算額 91 億 1,989 万 3 千円）と最も高く、次いで寄附金の 15.0%（決算額 38 億 9,339 万 4 千円）、繰入金の 12.2%（決算額 31 億 4,998 万 6 千円）、市税の 10.4%（決算額 26 億 8,491 万 4 千円）、国庫支出金の 8.2%（決算額 21 億 3,042 万 7 千円）、市債の 4.9%（決算額 12 億 6,503 万 3 千

円)、県支出金の4.2%(決算額10億8,050万3千円)の順となっています。

前年度比較増減額では、寄附金がふるさと仙北応援寄附金の増等により12億8,905万1千円(49.5%)増加したほか、繰入金が発ふるさと仙北応援基金繰入金の増等により5億1,775万7千円(19.7%)の増、諸収入が地方公共団体情報システムの標準化に伴うデジタル基盤改革支援補助金の増等により1億2,078万2千円(16.1%)増加しています。一方で、国庫支出金が電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金事業費補助金の皆減等により2億3,152万8千円(9.8%)の減、市税が令和6年度税制改正に伴う定額減税の実施等により7,525万1千円(2.7%)の減、県支出金が低コスト技術等導入支援事業費補助金の皆減等により3,166万7千円(2.8%)の減となりました。

(3) 市税の徴収実績の状況は、「第3表」のとおりです。

市税の徴収率は現年課税分99.2%、滞納繰越分6.0%、合計95.6%となっており、前年度徴収率の96.0%を0.4ポイント下回っています。

(4) 歳出決算額の目的別状況は、「第4表」のとおりです。

目的別の歳出項目別決算構成比では、総務費の33.3%(決算額84億100万7千円)、民生費の20.8%(決算額52億5,505万4千円)、衛生費の11.0%(決算額27億8,364万円)、土木費の8.4%(決算額21億3,269万6千円)の順となっています。

前年度比較増減では、総務費が発ふるさと仙北応援寄附金収入の増に伴うふるさと納税ふるさと便仙北市魅力発信事業費、ふるさと仙北応援基金積立金の増等により22億8,366万円(37.3%)の増、土木費が冬期交通対策費の増等により1億445万2千円(5.1%)の増となっています。

一方、衛生費が病院事業会計補助金の減等により3億6,310万8千円(11.5%)の減、民生費が子育て世帯及び低所得世帯への給付金に係る事業費の減等により3億2,181万9千円(5.8%)の減、農林水産業費が農地集積加速化基盤整備事業費の減等により1億4,143万3千円(13.6%)の減となっています。

(5) 歳出決算額の性質別状況は、「第5表」のとおりです。

性質別の歳出項目別決算構成比では、補助費等の23.2%(決算額58億5,933万6千円)、積立金の14.9%(決算額37億6,234万5千円)、人件費の14.1%(決算額35億7,106万8千円)、物件費の11.7%(決算額29億4,881

万 5 千円)、補助費の 10.1% (決算額 25 億 5,708 万 3 千円) の順となっています。

対前年度比較増減額では、積立金がふるさと仙北応援寄附金収入の増加に伴うふるさと応援基金積立金の増等により 11 億 4,565 万 6 千円 (43.8%) の増、物件費がふるさと納税ふるさと便仙北市魅力発信事業費の増等により 3 億 1,075 万円 (11.8%) の増、普通建設事業費が庁舎整備事業費の皆増等により 1 億 6,637 万 9 千円 (13.2%) の増となりました。

一方、扶助費が電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金の皆減等により 2 億 6,279 万円 (9.3%) の減、繰出金が介護保険特別会計繰出金の減等により 1 億 865 万 8 千円 (7.0%) の減、公債費が汚泥再生処理センター整備事業分の一部償還終了等による旧合併特例事業債の減等により 9,423 万 4 千円 (4.3%) の減となっています。

財政構造の弾力性を示す経常収支比率は、病院事業会計補助金の減等による補助費の減、旧合併特例事業債や臨時財政対策債等に係る公債費の減等により分子全体として減少したことで、前年度の 101.8%を 4.4 ポイント下回る 97.4%となりました。

(6) 市債の目的別現在高の状況は、「第 6 表」のとおりです。

令和 5 年度末の市債の現在高は 216 億 5,142 万 4 千円で、令和 6 年度中の市債借入額は 12 億 6,503 万 3 千円、同年度中の元金償還額は 20 億 3,036 万 5 千円、差引現在高 (令和 6 年度末) は 208 億 8,609 万 2 千円となり、年度末現在高は前年度に比べ 7 億 6,533 万 2 千円減少しています。

3 特別会計決算の状況

(1) 令和 6 年度の特別会計決算は「第 7 表」のとおりです。

① 集中管理特別会計の決算状況は、歳入歳出とも 41 億 2,685 万 1 千円 (前年度比 4.6%増) となっています。

② 国民健康保険特別会計の事業勘定の決算状況は、歳入総額 26 億 3,966 万 7 千円 (前年度比 1.9%減) に対し、歳出総額は 25 億 7,284 万 6 千円 (前年度比 0.5%減) で、歳入歳出差引額は 6,682 万 1 千円の黒字となっています。

国民健康保険税の収入状況は、「第 3 表」のとおりで、徴収率は現年課税分 96.1%、滞納繰越分 16.5%、合計で 87.4%となっており、前年度徴収率の 87.6%を 0.2 ポイント下回っています。

- ③ 神代診療施設勘定の決算状況は、歳入総額 7,310 万円（前年度比 16.4%減）に対し、歳出総額は 7,304 万 4 千円（前年度比 16.5%減）で、歳入歳出差引額は 5 万 6 千円の黒字となっています。
- ④ 後期高齢者医療特別会計の決算状況は、歳入総額 3 億 8,674 万 1 千円（前年度比 7.3%増）に対し、歳出総額は 3 億 8,658 万 1 千円（前年度比 7.3%増）で、歳入歳出差引額は 16 万円の黒字となっています。
- ⑤ 介護保険特別会計の決算状況は、歳入総額 4 億 6,877 万 9 千円（前年度比 19.7%減）に対し、歳出総額は 4 億 6,863 万 7 千円（前年度比 19.7%減）で、歳入歳出差引額は 14 万 2 千円の黒字となっています。
- ⑥ 生保内財産区特別会計の決算状況は、歳入総額 9,301 万 6 千円（前年度比 24.6%減）に対し、歳出総額は 6,607 万 5 千円（前年度比 32.5%減）で、歳入歳出差引額は 2,694 万 1 千円の黒字となっています。
- ⑦ 田沢財産区特別会計の決算状況は、歳入総額 3,355 万 6 千円（前年度比 33.9%減）に対し、歳出総額は 2,630 万 8 千円（前年度比 38.2%減）で、歳入歳出差引額は、724 万 8 千円の黒字となっています。
- ⑧ 雲沢財産区特別会計の決算状況は、歳入総額 685 万 4 千円（前年度比 36.4%増）に対し、歳出総額は 640 万 7 千円（前年度比 45.2%増）で、歳入歳出差引額は 44 万 7 千円の黒字となっています。

第1表 一般会計決算収支の状況

(単位：千円)

区分	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	翌年度へ繰り越すべき財源				実質収支額
				継続費繰越額	繰越明許費繰越額	事故繰越額	計	
令和6年度	25,919,529	25,244,264	675,265	1,808	49,927	0	51,735	623,530
令和5年度	24,060,694	23,579,145	481,549	0	79,932	0	79,932	401,617
増減額	1,858,835	1,665,119	193,716	1,808	△ 30,005	0	△ 28,197	221,913

第2表 一般会計歳入決算額の状況

(単位：千円・%)

区 分	決 算 額			決算額構成比		決算額増減率
	令和6年度	令和5年度	増 減 額	令和6年度	令和5年度	
市 税	2,684,914	2,760,165	△ 75,251	10.4	11.5	△ 2.7
地 方 譲 与 税	317,742	292,569	25,173	1.2	1.2	8.6
利 子 割 交 付 金	672	518	154	0.0	0.0	29.7
配 当 割 交 付 金	8,233	5,695	2,538	0.0	0.0	44.6
株式等譲渡所得割交付金	12,760	7,636	5,124	0.0	0.0	67.1
法 人 事 業 税 交 付 金	45,873	42,816	3,057	0.2	0.2	7.1
地方消費税交付金	650,129	638,183	11,946	2.5	2.7	1.9
環境性能割交付金	17,411	15,201	2,210	0.1	0.1	14.5
地方特例交付金	97,433	11,804	85,629	0.4	0.0	725.4
地 方 交 付 税	9,119,893	9,010,879	109,014	35.2	37.5	1.2
交通安全対策特別交付金	2,706	2,445	261	0.0	0.0	10.7
分担金及び負担金	10,881	21,533	△ 10,652	0.0	0.1	△ 49.5
使用料及び手数料	246,207	255,132	△ 8,925	0.9	1.1	△ 3.5
国 庫 支 出 金	2,130,427	2,361,955	△ 231,528	8.2	9.8	△ 9.8
県 支 出 金	1,080,503	1,112,170	△ 31,667	4.2	4.6	△ 2.8
財 産 収 入	35,038	36,872	△ 1,834	0.1	0.2	△ 5.0
寄 附 金	3,893,394	2,604,343	1,289,051	15.0	10.8	49.5
繰 入 金	3,149,986	2,632,229	517,757	12.2	10.9	19.7
繰 越 金	280,740	285,388	△ 4,648	1.1	1.2	△ 1.6
諸 収 入	869,554	748,772	120,782	3.4	3.1	16.1
市 債	1,265,033	1,213,260	51,773	4.9	5.0	4.3
自動車取得税交付金	0	1,129	△ 1,129	0.0	0.0	△ 100.0
合 計	25,919,529	24,060,694	1,858,835	100.0	100.0	7.7

第3表 市税の徴収実績の状況

(単位：千円・%)

区 分 税 目 別	調定済額			収入済額			徴 収 率			
	現年課税分 A	滞納繰越分 B	合 計 A + B = C	現年課税分 D	滞納繰越分 E	合 計 D + E = F	現 年 課税分 D/A	滞 納 繰越分 E/B	合 計 F/C	前年度に おける 徴収率
(1) 市 民 税	836,417	12,585	849,002	831,087	2,308	833,395	99.4	18.3	98.2	98.6
ア 個 人	699,420	10,740	710,160	694,491	2,178	696,669	99.3	20.3	98.1	98.6
イ 法 人	136,997	1,845	138,842	136,596	130	136,726	99.7	7.0	98.5	98.5
(2) 固 定 資 産 税	1,479,626	92,558	1,572,184	1,463,485	3,624	1,467,109	98.9	3.9	93.3	93.7
ア 純固定資産税	1,312,821	92,558	1,405,379	1,296,680	3,624	1,300,304	98.8	3.9	92.5	93.0
イ 交 付 金	166,805	0	166,805	166,805	0	166,805	100.0	0.0	100.0	100.0
(3) 軽 自 動 車 税	102,067	1,943	104,010	101,546	493	102,039	99.5	25.4	98.1	97.8
(4) 市 た ば こ 税	173,313	0	173,313	173,313	0	173,313	100.0	0.0	100.0	100.0
(5) 入 湯 税	109,058	0	109,058	109,058	0	109,058	100.0	0.0	100.0	100.0
合 計	2,700,481	107,086	2,807,567	2,678,489	6,425	2,684,914	99.2	6.0	95.6	96.0
国民健康保険税	338,127	41,696	379,823	325,106	6,896	332,002	96.1	16.5	87.4	87.6

第4表 一般会計歳出決算額（目的別）の状況

（単位：千円・％）

区 分	決 算 額			決算額構成比		決算額増減率
	令和6年度	令和5年度	増 減 額	令和6年度	令和5年度	
議 会 費	157,700	151,325	6,375	0.6	0.6	4.2
総 務 費	8,401,007	6,117,347	2,283,660	33.3	25.9	37.3
民 生 費	5,255,054	5,576,873	△ 321,819	20.8	23.7	△ 5.8
衛 生 費	2,783,640	3,146,748	△ 363,108	11.0	13.3	△ 11.5
労 働 費	74,256	63,141	11,115	0.3	0.3	17.6
農 林 水 産 業 費	896,973	1,038,406	△ 141,433	3.6	4.4	△ 13.6
商 工 費	853,524	814,250	39,274	3.4	3.5	4.8
土 木 費	2,132,696	2,028,244	104,452	8.4	8.6	5.1
消 防 費	883,942	829,702	54,240	3.5	3.5	6.5
教 育 費	1,606,368	1,530,421	75,947	6.4	6.5	5.0
災 害 復 旧 費	116,291	105,641	10,650	0.5	0.5	10.1
公 債 費	2,082,813	2,177,047	△ 94,234	8.2	9.2	△ 4.3
合 計	25,244,264	23,579,145	1,665,119	100.0	100.0	7.1

第5表 一般会計歳出決算額（性質別）の状況

（単位：千円・％）

区 分	決 算 額			決算額構成比		決算額増減率
	令和6年度	令和5年度	増 減 額	令和6年度	令和5年度	
人 件 費	3,571,068	3,423,924	147,144	14.1	14.5	4.3
うち職員給	2,084,847	2,027,251	57,596	8.3	8.6	2.8
物 件 費	2,948,815	2,638,065	310,750	11.7	11.2	11.8
維持補修費	757,136	609,950	147,186	3.0	2.6	24.1
扶 助 費	2,557,083	2,819,873	△ 262,790	10.1	12.0	△ 9.3
補助費等	5,859,336	5,706,059	153,277	23.2	24.2	2.7
普通建設事業費	1,423,202	1,256,823	166,379	5.6	5.3	13.2
補助事業費	492,536	461,314	31,222	1.9	1.9	6.8
単独事業費	729,388	516,150	213,238	2.9	2.2	41.3
県営事業負担金	201,278	279,359	△ 78,081	0.8	1.2	△ 28.0
災害復旧事業費	118,029	109,638	8,391	0.5	0.5	7.7
補助事業費	53,881	11,819	42,062	0.2	0.1	355.9
単独事業費	64,148	97,819	△ 33,671	0.3	0.4	△ 34.4
公 債 費	2,082,813	2,177,047	△ 94,234	8.3	9.2	△ 4.3
積 立 金	3,762,345	2,616,689	1,145,656	14.9	11.1	43.8
投資及び出資金	359,086	316,668	42,418	1.4	1.3	13.4
貸 付 金	351,600	342,000	9,600	1.4	1.5	2.8
繰 出 金	1,453,751	1,562,409	△ 108,658	5.8	6.6	△ 7.0
合 計	25,244,264	23,579,145	1,665,119	100.0	100.0	7.1

第6表 一般会計市債の目的別現在高の状況

(単位：千円)

区 分	令和5年度末 現在高 A	令和6年度末 発行高 B	令和6年度中元利償還額			差引現在高 A+B-C D	Dの借入先別内訳	
			元金 C	利子	計		政府資金	その他
1 総 務 債	3,148,779	227,800	136,545	2,444	138,989	3,240,034	0	3,240,034
2 民 生 債	398,424	6,100	25,184	2,710	27,894	379,340	4,827	374,513
3 衛 生 債	862,018	104,700	47,089	4,866	51,955	919,629	824,760	94,869
4 農 林 水 産 業 債	941,952	82,900	49,286	3,737	53,023	975,566	839,167	136,399
5 商 工 債	62,849	1,000	4,169	269	4,438	59,680	15,098	44,582
6 土 木 債	1,594,220	166,100	198,347	5,797	204,144	1,561,973	17,257	1,544,716
7 消 防 債	1,053,726	155,800	77,508	2,860	80,368	1,132,018	0	1,132,018
8 教 育 債	2,361,617	18,100	171,985	7,130	179,115	2,207,732	134,645	2,073,087
9 公 営 住 宅 債	54,101	0	14,178	825	15,003	39,923	39,923	0
10 辺 地 対 策 債	644,682	12,900	94,318	379	94,697	563,264	563,264	0
11 過 疎 対 策 債	4,333,657	441,400	447,059	8,445	455,504	4,327,998	4,009,939	318,059
12 災 害 復 旧 債	196,588	24,200	28,977	614	29,591	191,811	190,305	1,506
13 転 貸 債	266,919	0	44,227	1,023	45,250	222,692	0	222,692
14 減 税 補 て ん 債	7,765	0	4,055	5	4,060	3,710	3,710	0
15 臨 時 財 政 対 策 債	5,626,382	24,033	681,860	11,120	692,980	4,968,555	4,094,818	873,737
16 減 収 補 て ん 債	35,211	0	1,978	12	1,990	33,233	0	33,233
17 特 別 減 収 対 策 債	62,534	0	3,600	166	3,766	58,934	0	58,934
合 計	21,651,424	1,265,033	2,030,365	52,402	2,082,767	20,886,092	10,737,713	10,148,379

第7表 特別会計決算収支の状況

(単位：千円・%)

区 分	歳 入 総 額				歳 出 総 額				歳入歳出 差引額 A-B C	繰越事業費 繰越財源 D	実質収支額 C-D
	令和6年度 A	令和5年度	増 減 額	増減率	令和6年度 B	令和5年度	増 減 額	増減率			
集 中 管 理 特 別 会 計	4,126,851	3,944,143	182,708	4.6	4,126,851	3,944,143	182,708	4.6	0	0	0
国民健康保険特別会計 (事 業 勘 定)	2,639,667	2,692,039	△ 52,372	△ 1.9	2,572,846	2,586,638	△ 13,792	△ 0.5	66,821	0	66,821
国民健康保険特別会計 (神代診療施設勘定)	73,100	87,469	△ 14,369	△ 16.4	73,044	87,431	△ 14,387	△ 16.5	56	0	56
後期高齢者医療特別会計	386,741	360,442	26,299	7.3	386,581	360,415	26,166	7.3	160	0	160
介 護 保 険 特 別 会 計	468,779	583,432	△ 114,653	△ 19.7	468,637	583,353	△ 114,716	△ 19.7	142	0	142
生保内財産区特別会計	93,016	123,328	△ 30,312	△ 24.6	66,075	97,882	△ 31,807	△ 32.5	26,941	0	26,941
田 沢 財 産 区 特 別 会 計	33,556	50,794	△ 17,238	△ 33.9	26,308	42,541	△ 16,233	△ 38.2	7,248	0	7,248
雲 沢 財 産 区 特 別 会 計	6,854	5,024	1,830	36.4	6,407	4,414	1,993	45.2	447	0	447

4 主要施策の実績

(1) 一般会計

2 款 総務費

1 項 総務管理費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
8,520,950,000	7,838,098,215	167,960,395	514,891,390	○職員研修費 人材育成基本方針に則り、効果的・効率的な行政運営のため、職員の能力開発を図り、弾力的な組織体制づくりを目指す。	○職員研修費 5,668,363円 ・派遣研修旅費 3,569,700円 秋田県観光連盟 1人 秋田県企画振興部市町村課 1人 秋田県産業労働部企業立地事務所 1人 秋田県後期高齢者医療広域連合 1人 東日本旅客鉄道株式会社秋田支社 1人 北秋田市（内陸線再生支援室） 1人 ・職員研修旅費 398,472円 新規採用職員研修（前期・後期） 11人 新規採用職員研修（職務経験者） 9人 3年目職員研修 16人 秋田県市長会都市職員研修 13人 能力開発研修 16人 秋田県市町村振興協会市町村職員海外研修 1人 自治大学校D X推進リーダー育成特別研修 1人 ・役務費 441円 危険物取扱者保安講習受講申込返信用切手代 ・報償費 1,670,000円 人材育成研修 ・負担金 29,750円 新入社員歓迎激励会負担金 11人 自治大学校D X推進リーダー育成特別研修負担金 1人 職員の成長が組織力の向上につながることから、職員の能力を最大限に引き出し、発揮させるために、市長会等で実施する研修への参加のほか、市独自に階層別人材育成研修を実施するなど、職員の能力向上を図った。
				○広報等発行費 読みやすく充実した内容の広報づくりを目指し、定期的に読者に大切な情報をお知らせする。	○広報等発行費 12,102,854円 ・広報せんぼく等印刷費 5,660,512円 広報せんぼく印刷（フルカラー裏表、その他2色刷り・年12回×10,800部） ・広報紙等配布事業補助金 5,784,000円 シルバー人材センターで市内全世帯に配布 令和6年度は、モノクロ印刷からフルカラー裏表、その他2色刷りに変更して発行した「広報せんぼく」において、魅力的な写真を使用した表紙や読みやすさなどに配慮しながら紙面作りを行った。配布については、シルバー人材センターにより、すべて遅延なく的確に全戸配布した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○地籍調査事業費 地籍調査（一筆地調査）を実施し、地籍簿、地籍図を作成する。	○地籍調査事業費 29,518,991円 【繰越明許】 24,302,532円 ・地籍調査（一筆地調査） 調査地 角館下延西川原、竹市、竹市野、大久保、荒処 ・地籍簿、地籍図の作成（令和5年度調査分） 調査地 角館八割字内山、下延字明通り、切欠田 正確な地図や台帳をすることにより、災害などで境界が不明になっても容易に復元でき境界紛争等トラブル防止につながっている。また、財産の明確化に寄与した。
				○普通財産等管理費 市の普通財産を適正に管理する。	○普通財産等管理費 9,855,836円 ・国有財産境界確定、地積更生登記業務 740,722円 ・支障木伐採、不動産鑑定、登記業務委託等 1,010,106円 ・たざわ湖スキー場水沢リフト制動装置整備工事 6,270,000円 市有財産の良好な管理に寄与した。
				○庁舎整備事業費 庁舎の移転集約を行う。	○庁舎整備事業費 222,814,775円 ・解体工事等アスベスト事前調査業務委託 13,530,000円 ・角館上野庁舎改修工事等実施設計業務委託 10,901,000円 ・旧市立角館総合病院解体工事実施設計業務委託 3,105,300円 ・旧市立角館病院解体工事請負費 195,008,605円 旧市立角館総合病院の解体及び角館上野庁舎の改修工事を進め、庁舎の移転集約に寄与した。
				○公共施設等マネジメント事業費 公共施設について適正に管理する。	○公共施設等マネジメント事業費 11,400,196円 ・アスベスト調査業務委託 3,410,000円 （旧中町庁舎・旧西木公民館） ・旧中町庁舎等解体工事実施設計業務委託 1,320,000円 ・公共施設マネジメント事業支援業務委託 6,670,196円 職員主体による公共施設の状況把握に取り組み、適正な管理に寄与した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要																																					
				計画	実績及び効果																																				
				○クニマス未来館管理運営費 田沢湖クニマス未来館の維持管理を行う。（平成29年7月1日開館）	○クニマス未来館管理運営費 22,255,281円 ・観覧料収入 3,622,700円 ・主な経費 ・会計年度任用職員報酬等（5人） 15,494,478円 ・燃料費、電気・水道・電話料 3,269,858円 ・施設保守点検業務等委託料 1,774,184円 【入館者数】（単位：人） <table><tr><td>4月</td><td>655</td><td>8月</td><td>1,917</td><td>12月</td><td>255</td></tr><tr><td>5月</td><td>1,206</td><td>9月</td><td>1,078</td><td>1月</td><td>164</td></tr><tr><td>6月</td><td>907</td><td>10月</td><td>1,396</td><td>2月</td><td>251</td></tr><tr><td>7月</td><td>1,391</td><td>11月</td><td>859</td><td>3月</td><td>461</td></tr><tr><td colspan="4"></td><td>計</td><td>10,540</td></tr></table> <table><tr><td colspan="2">前年度入館者数</td><td>10,003</td></tr><tr><td>増</td><td>減</td><td>537</td></tr></table> 田沢湖固有種クニマスの発見を契機に田沢湖の歴史的背景から環境学習を進めると同時に、田沢湖クニマス未来館を良好に維持管理した。	4月	655	8月	1,917	12月	255	5月	1,206	9月	1,078	1月	164	6月	907	10月	1,396	2月	251	7月	1,391	11月	859	3月	461					計	10,540	前年度入館者数		10,003	増	減	537
				4月	655	8月	1,917	12月	255																																
5月	1,206	9月	1,078	1月	164																																				
6月	907	10月	1,396	2月	251																																				
7月	1,391	11月	859	3月	461																																				
				計	10,540																																				
前年度入館者数		10,003																																							
増	減	537																																							
				○思い出の潟分校管理運営費 思い出の潟分校の維持管理を行う。（平成29年4月1日より市管理）	○思い出の潟分校管理運営費 6,231,557円 ・観覧料収入 3,533,500円 ・主な経費 ・会計年度任用職員報酬等（2人） 5,520,188円 ・燃料費、電気・水道・ガス・電話料 363,482円 ・施設保守点検業務等委託料 141,900円 【入館者数】（単位：人） <table><tr><td>4月</td><td>677</td><td>8月</td><td>1,433</td><td>12月</td><td>202</td></tr><tr><td>5月</td><td>2,011</td><td>9月</td><td>883</td><td>1月</td><td>192</td></tr><tr><td>6月</td><td>674</td><td>10月</td><td>970</td><td>2月</td><td>236</td></tr><tr><td>7月</td><td>778</td><td>11月</td><td>595</td><td>3月</td><td>492</td></tr><tr><td colspan="4"></td><td>計</td><td>9,143</td></tr></table> <table><tr><td colspan="2">前年度入館者数</td><td>9,430</td></tr><tr><td>増</td><td>減</td><td>△ 287</td></tr></table> 田沢湖畔の歴史文化の継承と観光拠点として活用し地域活性化に貢献すると同時に、思い出の潟分校を良好に維持管理した。	4月	677	8月	1,433	12月	202	5月	2,011	9月	883	1月	192	6月	674	10月	970	2月	236	7月	778	11月	595	3月	492					計	9,143	前年度入館者数		9,430	増	減	△ 287
4月	677	8月	1,433	12月	202																																				
5月	2,011	9月	883	1月	192																																				
6月	674	10月	970	2月	236																																				
7月	778	11月	595	3月	492																																				
				計	9,143																																				
前年度入館者数		9,430																																							
増	減	△ 287																																							

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
				○総合行政情報システム管理費 基幹系・内部情報システムネットワーク・L G W A N等の運用および基幹系業務システム標準化に取り組む。	○総合行政情報システム管理費 210,966,357円 ・消耗品費(基幹系プリンター等) 1,810,950円 ・修繕料(ノートP C) 131,120円 ・役務費(保守用電話回線等) 1,219,117円 ・委託料 基幹系業務システム標準化対応業務委託 70,214,100円 基幹系システム保守業務委託 28,314,000円 財務会計等システム保守業務委託 8,210,400円 情報通信ネットワークシステム保守業務委託 7,447,000円 その他業務委託 2,559,040円 ・使用料及び賃借料 基幹系業務システム使用料 18,572,400円 基幹系業務システムサーバ等機器賃借料 14,549,040円 パソコン・プリンタ等賃借 18,148,880円 庁内I P電話機器更改 9,702,000円 情報通信ネットワークサーバ等機器更新 4,158,528円 情報通信回線等利用料 3,696,000円 情報通信ネットワーク田沢湖地区機器更新 2,937,000円 高速光通信回線サービス利用料 2,908,620円 情報通信ネットワークコアスイッチ更新 2,904,000円 L G W A Nサーバ機器更改 2,302,080円 ビジネスイーサワイド利用料 1,739,820円 L G W A N系資産管理システム用機器更改 1,407,120円 財務会計システム機器賃借料 1,053,360円 情報通信ネットワークV P N等機器更新 1,029,600円 その他使用料等 3,818,746円 ・備品購入費 無線アクセスポイント 213,950円 インクジェットプリンタ(リース満了) 33,000円 ・負担金 情報セキュリティクラウド運営経費負担金 1,326,155円 電子申請・届出サービス共同利用負担金 497,331円 地方公共団体情報システム機構負担金 63,000円 基幹系システムや一般事務用機器、ネットワークについて、制度改正や耐用年数経過、技術革新等に対応するため、保守委託、機器更改等を行い、事務の効率化や情報漏えいへのリスク対策、住民サービスの向上等を行った。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
				○地域カステップアップ事業費 地域の活性化や地域課題の解決に向け、自ら企画し実施するまちづくり事業を実施する市民団体等へ補助金を交付する。	○地域カステップアップ事業費 412,000円 ・協働によるまちづくり提案型補助金 交付実績 2件 412,000円 事業要件に合致し、予算の範囲内で実施できた幅広い年代での交流を深める事業に補助することで、地域の活性化に寄与した。
				○定住対策推進事業費 空き家バンクの利用促進や移住フェア等への参加、移住者向け情報パンフレットによる情報発信、ふるさとサポーターへの支援依頼、定住促進奨励金の交付による移住定住の推進を図る。	○定住対策推進事業費 1,506,862円 ・移住フェア等イベント参加旅費 160,460円 ・消耗品、印刷機使用料、郵便料等 146,552円 ・移住定住ガイドブック「おかえり」作成 113,300円 ・定住促進奨励金 交付実績 17件 986,550円 ・移住応援事業助成金 交付実績 1件 100,000円 空き家バンクへの新規空き家登録数〔1件〕、新規利用登録者数〔3件〕、賃貸・売買成約件数〔バンク内0件、バンク外3件〕があり、空き家の利活用を促進することができた。また、住宅取得後の固定資産税相当額を奨励金として交付したほか、新たに移住に係る初期費用の負担軽減に向けた助成金を交付したことにより、移住者の定住に寄与した。
				○姉妹都市等交流推進費 姉妹都市等との友好交流事業を実施する。 姉妹都市：大村市 三市連携交流提携都市：秋田市、常陸太田市	○姉妹都市等交流推進費 2,147,996円 ・大村市・仙北市姉妹都市提携45周年記念式典 講演謝礼等報償費、旅費 1,288,020円 ・消耗品、コピー代、燃料費、郵便料等 185,808円 ・物産展参加時車両借り上げ料、駐車場料金 100,168円 ・仙北市姉妹都市等交流事業補助金 190,000円 ・戊辰戦争戦没者墓地木柵整備事業費補助金 384,000円 大村市・仙北市姉妹都市提携45周年式典が大村市において開催され、姉妹都市との交流を深めることができた。また、交流都市の秋田市・常陸太田市は、角館の桜まつりにおける姉妹都市物産展への出展や三市足並みをそろえての広報活動など、協調してPRを行ったものの、常陸太田市の秋そばフェスティバルは現地側の都合で開催されなかった。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○地域おこし協力隊事業費 自然豊かな地域での生活や地域社会へ貢献することを求める都市地域の人材を積極的に誘致し、地域協力活動に従事してもらいながら定住・定着を図る。	○地域おこし協力隊事業費 23,880,487円 ・起業支援補助金 4件 4,000,000円 ・委託料（5人分） 19,880,487円 ①アクティビティガイド人材育成 1人（令和2年8月着任、令和7年3月退任） ②日本版DMO各種事業推進 1人（令和2年9月着任、令和7年3月退任） ③地域芸術文化振興・次世代継承 1人（令和4年5月着任） ④インバウンドグリーンツーリズム推進 1人（令和4年10月着任） ⑤景観価値を活用したリトリート推進 1人（令和5年4月着任） 隊員はそれぞれの活動テーマで地域活性化の取り組みを行っている。隊員同士の連携による地域活動及び情報発信など、活動の範囲を広げ、地域の活性化に寄与した。
				○仙北市女性の活躍推進事業費 女性活躍推進法に基づき、地域の女性が活躍できる社会を推進するため、女性活躍推進協議会による各種事業を実施する。	○仙北市女性の活躍推進事業費 364,210円 ・女性活躍推進協議会委員報償費（3回開催） 40,000円 ・イクボスセミナー講師謝礼 20,000円 ・消耗品、印刷機使用料、郵便料等 4,210円 ・おしごと体験キッズマルシェ開催補助金 300,000円 男女共同参画推進委員と連携して、講師を招いたイクボスセミナーを開催し、女性活躍推進の機運を高める取組を行った。
				○市民意識調査事業費 「仙北市総合計画」及び「仙北市総合戦略」の進行管理に活用し、政策評価等において市民意識を取り入れるため、市民を対象としたアンケート調査を実施する。	○市民意識調査事業費 805,306円 ・消耗品、コピー代、郵便料等 602,015円 ・令和6年度市民意識調査 調査票印刷（3,000部） 203,291円 「仙北市総合計画」及び「仙北市総合戦略」の進行管理に活用し、政策評価等において市民意識を取り入れるため、市民（3,000人）を対象としたアンケート調査を実施し有効回答数は1,288人となった。今回の調査で得た回答をもとに今後の施策に反映する。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要																					
				計画	実績及び効果																				
				○行政DX推進事業費 仙北市DX推進計画に基づき、デジタル化による庁内業務の改善と市民サービスの向上に取り組む。	○行政DX推進事業費1,874,180円 ・LINEセグメント配信システム使用料924,000円 ・ノーコードツールPlatio使用料481,800円 ・文字起こしエディタ使用料396,000円 ・チャットシステム Logoチャット使用料38,280円 ・Web会議ツールライセンス料34,100円 【LINEセグメント配信活用状況】 <table><tr><th>年度</th><th>配信件数</th><th>友だち登録者数</th><th>受信設定者数</th><th>備考</th></tr><tr><td>令和4</td><td>133件</td><td>6,861人</td><td>2,816人</td><td>12月導入</td></tr><tr><td>令和5</td><td>919件</td><td>7,891人</td><td>3,451人</td><td></td></tr><tr><td>令和6</td><td>674件</td><td>8,714人</td><td>3,851人</td><td></td></tr></table> ※登録者数はブロック数を除く 庁内業務の改善として、会議録作成ツールやビジネスチャットツール、Web会議ツールが適切に運用された。令和4年度に導入したLINEセグメント配信については、市民への情報発信の有効なツールとして活用が図られ市民サービスの向上に寄与している。また、令和6年度にはノーコードツールPlatioを導入し、災害時における情報共有に活用している。	年度	配信件数	友だち登録者数	受信設定者数	備考	令和4	133件	6,861人	2,816人	12月導入	令和5	919件	7,891人	3,451人		令和6	674件	8,714人	3,851人	
年度	配信件数	友だち登録者数	受信設定者数	備考																					
令和4	133件	6,861人	2,816人	12月導入																					
令和5	919件	7,891人	3,451人																						
令和6	674件	8,714人	3,851人																						
				○インターナショナルスクール誘致事業費 国家戦略特区の優位性や豊富な観光資源、首都圏からのアクセスの良さ等の強みを活かしてインターナショナルスクールの誘致に取り組み、外国人子女等の定住人口や外国人の交流人口の増加、教育産業等の新たな産業の育成による雇用機会の創出、地域の魅力度向上を目指す。	○インターナショナルスクール誘致事業費28,497,202円 ・消耗品、印刷機使用料、郵便料等384,702円 ・インターナショナルスクール誘致促進委託料7,850,000円 ・市内遊休施設等調査委託料5,341,000円 ・Maas事業化企画・運営委託料14,921,500円 令和5年1月の視察ツアーに参加し、市内開校を具体的に検討しているシンガポールのインターナショナルスクール運営法人の市内進出に向けた支援を行い、令和7年2月にインターナショナルスクール開設に関する協定書を締結した。 市内遊休施設等調査では、角館地区で2か所、田沢湖地区で4か所の計6か所を候補地として調査を実施した。生保内地区で日本語に不慣れな外国人向けMaasの実証運行を令和6年8月～11月に行い、延べ37人の利用があり、調査結果から今後の検討に有益な情報が得られた。																				

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要																
				計画	実績及び効果															
				○メルカリ事業費 大手フリーマーケットサービス「メルカリ」を活用し、廃棄する予定の非常食や使われなくなった市の物品、粗大ゴミ等を販売する。行政自らリユースを実践し、SDGs未来都市として市全体の環境配慮への意識醸成を図る。	○メルカリ事業費 75,056円 ・事務用消耗品費 7,106円 ・通信運搬費（メルカリ配送料） 850円 ・手数料（販売手数料及び振込手数料） 67,100円 ・メルカリ販売件数及び金額 <table><tr><td></td><td>令和6年度</td><td>令和5年度</td><td>前年度対比</td></tr><tr><td>件数</td><td>22件</td><td>17件</td><td>129.4%</td></tr><tr><td>金額</td><td>661,000円</td><td>45,256円</td><td>1460.6%</td></tr></table> 庁内の不要物品及び粗大ゴミをメルカリshopにて販売を行い、SDGsへの取組姿勢をアピールし、財源の確保に繋げた。					令和6年度	令和5年度	前年度対比	件数	22件	17件	129.4%	金額	661,000円	45,256円	1460.6%
					令和6年度	令和5年度	前年度対比													
				件数	22件	17件	129.4%													
金額	661,000円	45,256円	1460.6%																	
○ふるさと納税ふるさと便仙北市魅力発信事業費 ふるさと納税を通して仙北市の特産品を返礼することで、その魅力を全国にPRするとともに、仙北市の産業振興と観光促進を図る。	○ふるさと納税ふるさと便仙北市魅力発信事業費 2,036,166,700円 ・会計年度任用職員報酬等（1人） 3,957,738円 ・返礼品代、送料、郵便料 1,264,436,350円 ・決済手数料 11,232,245円 ・業務委託料 697,705,159円 ・消耗品、コピー代、封筒印刷代等 20,462円 ・石川県災害代理寄附金 58,814,746円 ・ふるさと納税申込件数及び金額 <table><tr><td></td><td>令和6年度</td><td>令和5年度</td><td>前年度対比</td></tr><tr><td>件数</td><td>104,760件</td><td>85,447件</td><td>122.6%</td></tr><tr><td>金額</td><td>3,867,613,746円</td><td>2,588,907,355円</td><td>149.4%</td></tr></table> ポータルサイトの増加や中間事業者による返礼品の開発等により、寄附金額が前年度比49.4%の増となり過去最高寄付額となった。各ポータルサイトでの露出やメルマガ等において本市の魅力を全国にPRすることができた。					令和6年度	令和5年度	前年度対比	件数	104,760件	85,447件	122.6%	金額	3,867,613,746円	2,588,907,355円	149.4%				
	令和6年度	令和5年度	前年度対比																	
件数	104,760件	85,447件	122.6%																	
金額	3,867,613,746円	2,588,907,355円	149.4%																	
				○移住体験推進事業費 秋田県外に居住している方を対象に、2泊3日～6泊7日で仙北市の生活を一時的に体験することで移住に関する不安や疑問を解消してもらうことが目的。 移住体験ハウスとして7軒を指定している。	○移住体験推進事業費 4,497,837円 ・消耗品、コピー代、印刷機使用料等 195,575円 ・市営松葉住宅電気料、水道料、清掃料、給排気管取付手数料、集落排水使用料 124,958円 ・事業広告宣伝費 539,999円 ・移住体験サポート業務委託 3,224,540円 ・移住体験ハウス使用料 195,000円 ・市営松葉住宅エアコン、FFストーブ等 184,400円 ・移住体験交通費助成 3件 33,365円 体験希望相談〔10件〕、体験実施〔3件（うち2件が後に移住）〕があり、実際に移住体験をしたことで、不安や疑問が解消し、移住の促進につながった。															

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○高度外国人材等受入促進事業費 ITエンジニア等の高度外国人材の市内企業への就業及び起業等による地域活性化を目指す。外国人材及び企業双方への支援体制強化のため、グローバル雇用・創業ワンストップセンターを運営する。	○高度外国人材等受入促進事業費 8,455,987円 ・消耗品、印刷機使用料、郵便料等 187,507円 ・高度外国人材等招聘調査業務 3,037,650円 ・グローバル雇用・創業ワンストップセンター企画業務 5,230,830円 令和6年12月実施の高度外国人材等のモニター調査の市内視察には、国際大学の留学生4名が参加した。市内視察と合わせて実施した合同企業マッチング会には市内企業等が6社出展し、市内視察参加者に加えて、県内留学生2名も参加した。 「仙北市グローバル雇用・創業ワンストップセンター」について、外国人雇用相談センターで12件、開業ワンストップセンターで29件の相談・利用件数があつた。
				○地域運営体活動推進費交付金 地域の特性を活かした自主的、主体的な活動により、地域が抱えている様々な課題を解決したり、所得や生活基盤の向上を図るための事業を行うことで、元気で住みやすく魅力ある地域にするための地域自治組織である地域運営体に財政的支援を行う。	○地域運営体活動推進費交付金 15,729,138円 ・地域運営体別交付額（設立順） ①田沢地域運営体「荷葉」（平成22.4.1設立） 1,947,881円 むらの喫茶店「たざわ」運営事業ほか ②白岩地域運営体（平成22.8.1設立） 1,756,819円 白岩城址燈火祭共催事業ほか ③桧木内地域運営体（平成22.8.22設立） 1,482,682円 敬老を祝う会事業ほか ④神代地域運営体（平成22.9.5設立） 2,212,079円 総合型地域スポーツクラブ事業ほか ⑤西明寺地域運営体（平成22.10.24設立） 1,653,990円 西明寺小学校生と地域住民の交流事業ほか ⑥雲沢地域運営体（平成22.12.12設立） 1,042,351円 公共施設周辺環境草刈作業ほか ⑦生保内地域運営体「嶽の会」（平成23.1.29設立） 1,860,294円 潤いと賑わいの町づくり事業ほか ⑧中川地域運営体（平成23.4.16設立） 929,042円 集会施設等整備事業ほか ⑨角館まちづくり地域運営体（平成23.11.27設立） 2,844,000円 施設維持管理事業ほか 地域ごとの身近な課題を地域住民自らが解決するなど自発的、主体的な取組を通じ、人口減少・高齢化が進む中、お互いに助け合う活力に満ちたコミュニティーづくりと、住民と行政の協働による共生社会の形成に寄与した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○移住支援事業費補助金 (デジタル田園都市国家構想推進交付金) 過度な東京圏への一極集中の是正及び地方の担い手不足対策を図るため、秋田県と県内25市町村が共同してU I J ターンによる起業・就業者の創出等を行う。	○移住支援事業費補助金（デジタル田園都市国家構想推進交付金） 600,000円 ・交付実績 単身1件、世帯0件 600,000円 東京圏から仙北市に移住して就業・起業等した者に対し移住支援金を交付することで、U I J ターンの促進につながった。
				○地域振興事業費 各市民センターにおいて、地域住民の要望や災害発生等により緊急に対応すべき案件に迅速に対処する。	○地域振興事業費 1,860,100円 ・田沢湖地区 4件 1,169,190円 ・角館地区 1件 470,910円 ・西木地区 1件 220,000円 地域からの要望や災害発生時の応急対応など、3地区で6件の対応を行った。各要望に速やかに対応することで、地域の安心安全の向上に寄与した。
				○街灯費 市が管理する街灯（防犯灯）の適正な維持管理と街灯の新設を行う。	○街灯費 22,374,000円 ・街灯、防犯灯修繕（96カ所） 8,025,550円 ・街灯、防犯灯新設・移設工事（9カ所） 1,288,204円 ・街灯電気使用料 12,705,383円 夜間の道路照明等として交通安全に寄与するとともに犯罪抑止効果をもたらす等、市の交通安全、防犯対策の整備を強化した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要																																																									
				計画	実績及び効果																																																								
				○生活路線代替バス運行費 民間バス事業者の路線廃止に伴い、地域と学校、医療機関等を結ぶ市民バス及びデマンド型乗合タクシーの運行を行う。	○生活路線代替バス運行費64,137,081円 ・市民バス（向生保内線）※指定管理者 ①事業概要 運行日数295日 1日平均乗車数15.5人 <table><tr><td>大人利用者</td><td>4,327人</td></tr><tr><td>子供利用者</td><td>260人</td></tr><tr><td>合計</td><td>4,587人</td></tr></table> ②事業収支 収入 <table><tr><td>県補助金</td><td>870,000円</td></tr></table> 支出 <table><tr><td>運行維持費</td><td>235,136円</td></tr><tr><td>運転委託費</td><td>8,097,000円</td></tr><tr><td>合計</td><td>8,332,136円</td></tr></table> ・市民バス（下延八割線）※指定管理者 ①事業概要 運行日数295日 1日平均乗車数45.9人 <table><tr><td>大人利用者</td><td>8,893人</td></tr><tr><td>子供利用者</td><td>4,660人</td></tr><tr><td>合計</td><td>13,553人</td></tr></table> ②事業収支 収入 <table><tr><td>県補助金</td><td>1,431,000円</td></tr></table> 支出 <table><tr><td>運行維持費</td><td>164,790円</td></tr><tr><td>運転委託費</td><td>14,477,000円</td></tr><tr><td>合計</td><td>14,641,790円</td></tr></table> ・市民バス（鎧畑線）※NPO法人へ委託 ①事業概要 運行日数295日 1日平均乗車数12.2人 <table><tr><td>大人利用者</td><td>3,001人</td></tr><tr><td>子供利用者</td><td>603人</td></tr><tr><td>合計</td><td>3,604人</td></tr></table> ②事業収支 収入 <table><tr><td>県補助金</td><td>0円</td></tr><tr><td>利用料</td><td>764,120円</td></tr><tr><td>合計</td><td>764,120円</td></tr></table> 支出 <table><tr><td>運行維持費</td><td>818,118円</td></tr><tr><td>運転委託費</td><td>3,206,500円</td></tr><tr><td>合計</td><td>4,024,618円</td></tr></table> ・デマンド型乗合タクシー ①事業概要 運行日数(各社平均)295日 1日平均乗車数64.1人 <table><tr><td>大人利用者</td><td>14,837人</td></tr><tr><td>子供利用者</td><td>4,074人</td></tr><tr><td>合計</td><td>18,911人</td></tr></table> ②事業収支 収入 <table><tr><td>県補助金</td><td>7,101,000円</td></tr></table> 支出 <table><tr><td>運行維持費</td><td>35,335,332円</td></tr></table> ・消耗品、修繕料、郵便料、保険料等1,653,205円 ・地域公共交通会議負担金150,000円 民間バス事業者の路線廃止に伴い、市民バス及びデマンド型乗合タクシーを運行し、各地域と学校や医療機関、活動拠点などをつなぎ、生活実態に応じた路線・交通の利便性を確保した。	大人利用者	4,327人	子供利用者	260人	合計	4,587人	県補助金	870,000円	運行維持費	235,136円	運転委託費	8,097,000円	合計	8,332,136円	大人利用者	8,893人	子供利用者	4,660人	合計	13,553人	県補助金	1,431,000円	運行維持費	164,790円	運転委託費	14,477,000円	合計	14,641,790円	大人利用者	3,001人	子供利用者	603人	合計	3,604人	県補助金	0円	利用料	764,120円	合計	764,120円	運行維持費	818,118円	運転委託費	3,206,500円	合計	4,024,618円	大人利用者	14,837人	子供利用者	4,074人	合計	18,911人	県補助金	7,101,000円	運行維持費	35,335,332円
大人利用者	4,327人																																																												
子供利用者	260人																																																												
合計	4,587人																																																												
県補助金	870,000円																																																												
運行維持費	235,136円																																																												
運転委託費	8,097,000円																																																												
合計	8,332,136円																																																												
大人利用者	8,893人																																																												
子供利用者	4,660人																																																												
合計	13,553人																																																												
県補助金	1,431,000円																																																												
運行維持費	164,790円																																																												
運転委託費	14,477,000円																																																												
合計	14,641,790円																																																												
大人利用者	3,001人																																																												
子供利用者	603人																																																												
合計	3,604人																																																												
県補助金	0円																																																												
利用料	764,120円																																																												
合計	764,120円																																																												
運行維持費	818,118円																																																												
運転委託費	3,206,500円																																																												
合計	4,024,618円																																																												
大人利用者	14,837人																																																												
子供利用者	4,074人																																																												
合計	18,911人																																																												
県補助金	7,101,000円																																																												
運行維持費	35,335,332円																																																												

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要										
				計画	実績及び効果									
				○生活バス路線対策費 日常生活上の交通手段の確保のため、民間バス事業者の運営に対し補助を行う。	○生活バス路線対策費 47,017,000円 ・生活バス路線等維持費補助金 47,017,000円 対象：市内11系統（羽後交通(株)、秋北バス(株)） （財源内訳） 県補助金 15,083,000円 一般財源 31,934,000円 民間が運行している路線バスは、市内はもとより他市町をつなぐ生活交通としての役割を担っている。補助金の交付により日常の移動が困難な交通弱者など、市民が生活を維持する上で重要な交通路線を確保した。									
				○よぶのる角館運行事業費 角館中心市街地において、J R 東日本と連携協力しながらM a a Sを活用した「角館オンデマンド交通」（よぶのる角館）を運営し、観光需要の創出並びに地域住民の交通利便性向上に資する取組を推進する。 地域公共交通計画に基づき、角館駅および角館総合病院でよぶのる角館車両の位置情報やスマイルバスの到着を知らせるロケーションシステムを導入、運用する。	○よぶのる角館運行事業費 19,436,905円 ・角館オンデマンド交通負担金 18,661,229円 <table><tr><td>乗車人数</td><td>令和4年度</td><td>6,286人</td></tr><tr><td></td><td>令和5年度</td><td>10,004人</td></tr><tr><td></td><td>令和6年度</td><td>12,348人</td></tr></table> 運行日数 361日 1日平均乗車数 34.2人 ・市民バス（スマイルバス）・よぶのる角館 ロケーションシステム運用業務委託料 765,600円 ・J R 角館駅待合室賃借料（電子看板電気料分） 10,076円 周知や利用方法の浸透により利用数の増えた「よぶのる角館」の運行により、観光客及び市民の交通利便性向上に繋がった。令和6年度においてはスマイルバス中川線のよぶのる角館への統合により更なる乗車人数の増となった。	乗車人数	令和4年度	6,286人		令和5年度	10,004人		令和6年度	12,348人
乗車人数	令和4年度	6,286人												
	令和5年度	10,004人												
	令和6年度	12,348人												
				○秋田内陸線利活用促進事業費負担金 秋田内陸線等の地域公共交通の活性化及び再生を推進するため、秋田内陸地域公共交通連携協議会が行う事業への負担金を支出する。	○秋田内陸線利活用促進事業費負担金 8,626,759円 ・秋田内陸地域公共交通連携協議会負担金 8,626,759円 秋田内陸地域公共交通連携協議会において、田んぼアートや観光ガイドマップの作成等の事業を行うことで、内陸線の利用促進・利便性向上に寄与した。									

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要																
				計画	実績及び効果															
				○秋田内陸縦貫鉄道(株)運営費補助金 日常生活上の交通手段の確保及び観光産業の活性化のため、秋田内陸縦貫鉄道(株)の運営に対し四者合意に基づき、補助を行う。	○秋田内陸縦貫鉄道(株)運営費補助金 77,805,200円 ・鉄道路線（角館駅～鷹巣駅）94.2km 輸送人員実績（単位：人） <table><tr><td rowspan="2">令和5年度</td><td>輸送人員</td><td>230,579</td></tr><tr><td>うち外国人</td><td>38,534</td></tr><tr><td rowspan="2">令和6年度</td><td>輸送人員</td><td>226,690</td></tr><tr><td>うち外国人</td><td>39,443</td></tr><tr><td rowspan="2">増減</td><td>輸送人員</td><td>△ 3,889</td></tr><tr><td>うち外国人</td><td>909</td></tr></table> ※外国人実績については団体旅行実績数値 (財源内訳) 県補助金 19,500,000円 過疎対策債 58,305,200円 4者（秋田県、北秋田市、仙北市、秋田内陸縦貫鉄道（株））による基本合意書の見直しにより、令和6年度の経常損失額を500万円減の1億9,500万円以内にすることとなり、県・市の負担額が下がった。	令和5年度	輸送人員	230,579	うち外国人	38,534	令和6年度	輸送人員	226,690	うち外国人	39,443	増減	輸送人員	△ 3,889	うち外国人	909
令和5年度	輸送人員	230,579																		
	うち外国人	38,534																		
令和6年度	輸送人員	226,690																		
	うち外国人	39,443																		
増減	輸送人員	△ 3,889																		
	うち外国人	909																		
				○収納推進費 市税をはじめとする未収金の徴収対策として次の取組を行う。 ・特別徴収専門員の雇用により、徴収体制の強化を図る。 ・催告、財産調査及び滞納処分の執行により徴収率の向上を図る。	○収納推進費 9,141,824円 ・特別徴収専門員雇用経費（2人） 報酬・手当等 7,941,804円 徴収員訪問徴収実績 訪問件数 延べ 1,913件 徴収件数 延べ 617件 徴収額 6,825,018円（督促料、延滞金含む） ・催告、財産調査及び滞納処分等業務経費 需用費・役務費 1,200,020円 財産調査・滞納処分実績 財産調査件数 278件 滞納処分件数 66件 差押え滞納額 13,245,713円 市税等未納者に対し、催告や滞納処分を強化しているため、翌年度に繰り越される金額（滞納額）が減少している。															

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
				○集落集会所建設事業費補助金 集落が行う集落会館のエアコン設置や水洗化等の事業に対し、費用の一部を補助することにより会館の利便性向上を図り、地域活動の推進、住民相互の親睦とコミュニケーションの醸成を促進する。	○集落集会所建設事業費補助金 1,486,000円 ・先達町内会館エアコン設置事業 工事場所 田沢湖田沢字供養仏 工事概要 エアコン設置工事 事業費 530,200 円 市補助金 265,000 円 (田沢財産区から繰入) ・山根会館エアコン設置事業 工事場所 角館町山根 工事概要 エアコン設置工事 事業費 264,000 円 市補助金 100,000 円 ・上真崎野多目的生活改善センターエアコン設置事業 工事場所 田沢湖卒田字上真崎野 工事概要 エアコン設置工事 事業費 300,000 円 市補助金 100,000 円 ・手倉野相内端部落会館屋根葺き替え事業 工事場所 田沢湖生保内字小杉沢口 工事概要 屋根葺き替え工事 事業費 1,441,000 円 市補助金 720,000 円 (生保内財産区から繰入) ・木田相沢集落会館（児童会館）改修工事 工事場所 西木町字木田 工事概要 下水道接続・トイレ水洗化工事 事業費 602,800 円 市補助金 301,000 円 地域住民が集う集落会館のエアコン設置、水洗化等を行うことにより、地域活動の拠点が整備され、住民相互の親睦とコミュニケーションの醸成がなされ、地域コミュニティの維持に繋がった。

2 款 総 務 費 2 項 徴 税 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事 業 の 概 要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
381,261,000	375,848,519	0	5,412,481	○賦課徴収費 市税の賦課・徴収に係る事務を、電算システムを活用して適正かつ効率的に行う。	○賦課徴収費 58,260,142円 ・家屋評価システム保守業務委託 534,600円 ・税務システム大量出力業務委託 11,506,000円 ・申告支援システム保守業務委託 4,316,400円 ・税目追加（森林環境税）に伴う基幹システム 495,000円 帳票カスタマイズ業務委託 ・特別徴収・軽自動車税納税通知書帳票カスタマイズ業務委託 880,000円 ・固定資産税地理情報システムデータ 3,575,000円 加除修正業務委託 ・定額減税に伴う基幹システム改修業務委託 4,796,000円 ・固定資産税時点修正鑑定評価業務委託 1,155,000円 ・二輪小型車及び二輪軽自動車申告手続オンライン化対応業務委託 2,257,750円 ・e L T A X新機能追加に伴う A P P 更新設定 770,000円 業務委託 ・登記情報データ取込システム構築業務委託 143,000円 適切かつ効率的な賦課・徴収に寄与した。
				○定額減税補足給付金事業費 定額減税及び給付に係る事務を、電算システムを活用して適正かつ効率的に行う。また、膨大な問い合わせが想定されることから、コールセンターを設置し、市民からの問い合わせに対して迅速かつ適切に対応する。	○定額減税補足給付金事業費 218,165,980円 ・定額減税補足給付に係る税務システム回収業務委託 2,274,800円 ・定額減税補足給付金事業に係るコールセンター等 8,989,099円 業務委託 ・定額減税調整給付金 205,470,000円 適切かつ効率的な定額減税業務に寄与した。

3 款 民 生 費 1 項 社 会 福 祉 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
3,093,453,000	3,024,184,205	0	69,268,795	○生活困窮者自立支援事業費 生活困窮者自立支援法に基づき、現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある者（＝生活困窮者）の自立促進を図るため、生活困窮者自立相談支援事業の実施、生活困窮者住居確保給付金の支給及びその他の自立を支援する。	○生活困窮者自立支援事業費 6,788,341円 - 生活困窮者自立相談支援事業委託料 5,579,200円 委託先：（福）仙北市社会福祉協議会 - 自立相談支援員報酬 1,190,881円 - 事務経費、償還金利子及び割引料 18,260円 - 住居確保給付金 0円 相談支援は、委託先である社会福祉協議会内に仙北市自立相談応援センターを設置し、専任職員を配置して行った。市でも相談対応をしており、合わせて年間40件の相談があり、各種情報提供や関係機関へのつなぎを実施した。 自分の力だけでは困窮から抜け出せない対象者に、各種支援策の斡旋や就労へ結びつける支援を行い、必要に応じて生活保護制度へのつなぎを実施した。
				○物価高騰対応重点支援給付金支給事業費 物価高が続く中で低所得世帯（令和6年度に新たに市民税非課税世帯及び均等割のみ課税となる世帯）への支援を行うことで、低所得の方の生活を維持する。また、同じく子育て世帯への支援を行うことで、子育て世帯の生活を維持する。	○物価高騰対応重点支援給付金支給事業費 46,249,006円 【繰越明許】 - 事務経費（需用費、役務費等） 27,000円 - 扶助費 7,650,000円 【現年】 - 事務経費（需用費、役務費等） 672,006円 - 扶助費 37,900,000円 令和6年度に新たに市民税非課税世帯及び均等割のみ課税世帯となる世帯428世帯（基準日6月3日）のうち、98.1%の420世帯へ10万円を支給、また、同世帯において扶養されている18歳以下の子ども71人【40世帯】（基準日6月3日）のうち、100%の71人【40世帯】へ1人5万円を支給し、低所得世帯及び子育て世帯の家計負担軽減の一助となった。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
				○物価高騰対応重点支援給付金支給事業費（国補正追加分） 物価高が続く中で低所得世帯（令和6年度市民税非課税世帯（ただし、市民税課税者の被扶養者のみで構成される世帯を除く））への支援を行うことで、低所得の方の生活を維持する。また、同じく子育て世帯への支援を行うことで、子育て世帯の生活を維持する。 ・灯油購入費緊急助成金分（上記給付金への上乗せ） 灯油価格の高騰が低所得世帯等の家計を圧迫していることから、低所得世帯の負担軽減を図るため、灯油購入費に対し補助する。	○物価高騰対応重点支援給付金支給事業費 126,232,282円（国補正追加分） ・事務経費（需用費、役務費等） 1,541,266円 ・扶助費（市民税非課税世帯3,317世帯）（子ども加算振込人数167人（114世帯）） 99,510,000円 3,340,000円 令和6年度市民税非課税世帯（ただし、市民税課税者の被扶養者のみで構成される世帯を除く）3,342世帯（基準日12月13日）のうち、99.3%の3,317世帯へ3万円を支給、また、同世帯で扶養されている18歳以下の子ども167人【114世帯】（基準日12月13日）のうち、100%の167人【114世帯】へ1人2万円を支給し、子育て世帯の家計負担軽減の一助となった。 ○灯油購入費緊急助成金分（上記給付金への上乗せ） ・事務経費（需用費、役務費等） 271,016円 ・扶助費（振込世帯3,595世帯） 21,570,000円 令和6年度市民税非課税世帯3,627世帯（基準日12月13日）のうち、99.1%の3,595世帯へ灯油購入費6千円を支給し、高騰する灯油価格に対して緊急的な支援を実施した。
				○特別障害者手当等支給費 重度の障がい者を有し、日常生活において常時特別な介護を必要とする状態にある在宅障がい者（児）に手当を支給する。 特別障害者手当 28,840円／月 障害児福祉手当 15,690円／月 福祉手当（経過措置） 15,690円／月	○特別障害者手当等支給費 23,142,276円 ・内訳（実人数84人） 特別障害者手当（延月数 752月） 21,580,180円 障害児福祉手当（延月数 88月） 1,373,200円 福祉手当（延月数 12月） 187,340円 計（延月数 852月） ・役務費（手数料） 1,556円 精神又は身体に著しく重度の障がいがある方（在宅）に手当を支給することで福祉の増進を図り、在宅生活の継続を支援した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
				○地域生活支援事業費 障がいのある人が有する能力や適正に応じ、自立した日常生活・社会生活を営むことができるよう支援する。	○地域生活支援事業費 21,910,915円 ・相談支援事業（相談支援事業所愛仙へ委託） 相談件数 1,576件 委託料 8,158,570円 生活上の様々な相談を受け、自立支援医療、手帳及びサービス利用につなげることができ、地域生活を継続支援した。 ・意思疎通支援事業 手話通訳派遣旅費 12回（1人） 37,000円 要約筆記者派遣委託料 3回（1人） 45,216円 聴覚障がい者が、社会参加や病院受診の際などに、コミュニケーション手段をサポートし、活動の幅が広がり、地域での暮らしを支援した。 ・日常生活用具給付事業 蓄便袋・蓄尿袋・紙おむつほか 821件（148人） 7,895,198円 ・移動支援事業 24回（1人） 150,417円 ・訪問入浴サービス事業 56回（2人） 719,088円 ・日中一時支援事業 委託料（34人） 4,191,800円 ・芸術文化活動振興事業 ふれあい芸能文化発表会補助金 500,000円 ・声の広報等発行事業 声の広報等発行補助金 1団体 30,000円 ・事務費（需用費、役務費） 183,626円 障がい者（児）が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、ストーマ装具等の日常生活用具等給付事業や、家族及び介護者の一時的な負担軽減を図る日中一時支援事業を中心に行っており、地域福祉の増進と在宅生活を支援した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○障害者自立支援給付費 障害者総合支援法に基づき身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、障がい児、難病患者等の日常生活や社会生活を総合的に支援する。	○障害者自立支援給付費 634,844,495円 ・障害福祉サービス費の支給 扶助費（231人） 586,142,389円 ・障害児通所給付費の支給 扶助費（21人） 29,125,963円 ・補装用具費（交付・修理）の支給 扶助費（33件） 4,338,825円 ・自立支援医療費（更生、育成医療）の支給 更生医療扶助費（32人） 10,591,694円 育成医療扶助費（1人） 3,786円 療養介護医療扶助費（6人） 3,641,051円 役務費 1,000,787円 ホームヘルプや通所サービスの利用により、住み慣れた地域で安心して生活できるよう支援した。また、就労系サービスの利用により、一般企業への就労や生産活動を通して雇用への移行を支援した。 自立支援医療費の支給は、障がい者の医療費の負担軽減が図られ、さらに補装具の購入・修理時には経済的負担が軽減され自立した生活を支援した。
				○難聴児補聴器購入費助成事業費 身体障害者手帳の交付対象にならない軽、中度の難聴児を対象として、補聴器購入費を助成する。	○難聴児補聴器購入費助成事業費 88,532円 ・補聴器購入費の助成 1人 88,532円 補聴器を装用することにより言語の習得が可能になる等、障がい児の学習面における福祉の向上に寄与した。
				○人工透析通院費支給事業費 腎臓機能に障がいがある方が、人工透析治療を受けるため居住地から医療機関への通院に要した交通費の一部を助成する。	○人工透析通院費支給事業費 1,572,757円 ・人工透析通院費の支給 38人 1,572,757円 腎臓機能障害により人工透析を受けている方の通院費を助成することにより、経済的支援及び確実な治療の継続に寄与した。
				○障がい者（児）タクシー利用券給付事業費 仙北市に住所を有する重度身体障がい者（児）、知的障がい者（児）、精神障がい者（児）及び難病患者（特定医療費（指定難病）受給者）の生活圏の拡大を図るとともに、社会参加を促進し福祉の増進を図るため、タクシーの利用料金の一部を助成する。（ただし、在宅の障がい者を対象とすることから社会福祉施設入所者は除く。）	○障がい者（児）タクシー利用券給付事業費 1,749,900円 ・タクシー利用券の給付 171人 1,749,900円 15,000円のタクシー利用券を乗車料金の範囲内で自由に利用できるものであり、障がい者の外出における利便性の向上に寄与した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要																			
				計画	実績及び効果																		
				○障害者通所施設等交通費助成金交付事業費 障がい者施設等に通所する障がい者又はその介護者の経済的負担の軽減のため、通所に要する交通費の一部を助成する。	○障害者通所施設等交通費助成金交付事業費 656,836円 ・交通費の助成 21人 656,836円 障がい者施設等に通所する障がい者又はその介護者の経済的負担を軽減させることにより、障がい者施設等の利用を促進し、障がい者福祉の向上に寄与した。																		
				○仙北市権利擁護センター事業費 「成年後見制度利用促進法」に基づく中核機関である仙北市権利擁護センターの機能を仙北市社会福祉協議会へ委託する。日常生活自立支援と法人後見事業を一本化させ、業務の効率化と市民の利便性向上を図る。	○仙北市権利擁護センター事業費 2,792,260円 ・権利擁護センター事業（社会福祉協議会へ委託） 相談件数 <table border="1"> <tr> <th colspan="2">高齢者 (包括受付)</th><th colspan="2">高齢者 (社会福祉課受付)</th><th colspan="2">権利擁護センター</th></tr> <tr> <th>相談件数</th><th>市長申立</th><th>相談件数</th><th>市長申立</th><th>相談件数</th><th>後見等受任</th></tr> <tr> <td>23</td><td>0</td><td>10</td><td>0</td><td>12</td><td>0</td></tr> </table> 委託料 2,306,260円 「成年後見制度利用促進法」に基づく中核機関である仙北市権利擁護センターを仙北市社会福祉協議会へ業務を委託し業務の効率化と市民の利便性向上に寄与した。 ・事務費（役務費） 6,000円 ・成年後見人等の報酬助成 2件 480,000円 成年後見制度の利用が有用であるが経費について補助を受けなければ利用困難な障がい者に対し、経費等を助成することで、制度の利用促進を図った。	高齢者 (包括受付)		高齢者 (社会福祉課受付)		権利擁護センター		相談件数	市長申立	相談件数	市長申立	相談件数	後見等受任	23	0	10	0	12	0
高齢者 (包括受付)		高齢者 (社会福祉課受付)		権利擁護センター																			
相談件数	市長申立	相談件数	市長申立	相談件数	後見等受任																		
23	0	10	0	12	0																		
				○障害者支援施設等物価高騰対策事業費 物価高騰に伴う障害者支援施設の負担軽減を図るため、光熱水費等及び食材料費の一部を補助する。	○障害者支援施設等物価高騰対策事業費 2,433,700円 ・負担金補助及び交付金 2,433,700円 市内にある障害者支援施設7施設に対して、施設区分や定員数に応じた金額を交付し、高騰する光熱水費等及び食材料費に対して緊急的な支援を実施した。																		
				○緊急通報装置給付・貸付事業費 急病や災害等の緊急時に迅速かつ適切な対応を図るため、ひとり暮らし高齢者や身体障がい者等に対し、緊急通報装置を貸与する。	○緊急通報装置給付・貸付事業費 2,527,720円 委託料(仙北市社会福祉協議会) 2,527,720 円 設置 43台 (令和6年度中 新設 13件・撤去 2件) 緊急時に緊急通報装置を使用すると、委託業者による対象者への駆けつけ、協力者への通報などが行われるため、ひとり暮らしの高齢者や身体障がい者の不安解消につながっている。																		
				○高齢者共同生活(相互援助ホーム)支援事業費 家庭の事情により養護を必要とする高齢者に対して、冬季間一時的に施設で養護することにより、高齢者及びその家族の日常生活を支援する。	○高齢者共同生活(相互援助ホーム)支援事業費 3,159,538円 委託料(社会福祉法人県南ふくし会) 3,158,660円 延べ利用日数 802 日 実利用者数 8 人 冬季間自宅で生活することが困難な高齢者の一時的な養護と、共同生活を送ることによる日常生活の安定が図られている。																		

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○高齢者世帯等除雪支援事業費 自力で除雪することが困難と認められる高齢者世帯等に対して除排雪や雪下ろしに係る費用の一部を助成する。	○高齢者世帯等除雪支援事業費 11,153,908円 除排雪事業 354件 6,744,000円 雪下ろし事業 264件 3,825,000円 自力で除排雪を行うことができない高齢者等の除排雪および雪下ろしに係る費用の一部を助成することにより、冬季間生活する上での不安解消につながっている。
				○介護タクシー利用助成事業費 在宅で介護度3以上の要介護認定者がケアプラン外で介護タクシーを利用したときの費用額の2分の1を助成する。	○介護タクシー利用助成事業費 225,332円 延べ利用数 58件 家族等での移送が困難な要介護認定者に対し、介護タクシー利用料の一部を助成することにより、在宅生活の継続及び負担軽減が図られている。
				○高齢難聴者補聴器購入費助成事業費 市内に居住する65歳以上の中度難聴者の補聴器購入費の一部を助成する。 (購入費の2分の1か3万円のいずれか低い金額)	○高齢難聴者補聴器購入費助成事業費 900,000円 助成件数 30件 難聴により会話やコミュニケーションがとりにくくなった高齢者に対し補聴器購入費の一部を助成することにより、社会参加及び認知症、認知症進行、うつ病等の予防につながっている。
				○福祉医療費 仙北市に在住する乳幼児、小中学生、高校生等(令和4年8月～)、ひとり親家庭の児童、高齢身体障がい者、重度心身障がい(児)者の医療費の保険適用分の自己負担相当額を助成する。 乳幼児、小中学生区分… 市民税所得割課税世帯は一部自己負担ありとしていたが、制度改正により令和4年8月以降自己負担分全額助成を開始	○福祉医療費 183,354,328円 ・乳幼児、小中学生及び高校生等 59,093,586円 ・ひとり親家庭の児童 8,512,885円 ・高齢身体障がい者 28,061,417円 ・重度心身障がい(児)者 97,998,039円 ・福祉医療高額療養費戻入金(国保分) △10,311,599円 福祉医療費の助成は、乳幼児、小中学生、高校生等、ひとり親家庭の児童、高齢身体障がい者、重度心身障がい(児)者の健康保持と生活安定を図るための重要な施策であり、引き続き実施していく。
				○介護予防普及啓発事業費 住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、認知症についての知識や予防についての講話と運動を取り入れた教室を開催する。	○介護予防普及啓発事業費 432,016円 ・あたまとからだの若返り教室 市内9か所 36回開催 参加者実人数108人 延べ287人 認知症についての知識や予防についての講話と運動を取り入れた教室を開催し、介護予防について普及啓発した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○権利擁護事業費 認知症等により判断能力が十分ではない方について、関係機関と連携を図りながら日常生活自立支援事業や成年後見制度の利用支援を行う。	○権利擁護事業費 42,353円 ・権利擁護（成年後見含む）相談件数 延べ76件 ・高齢者虐待相談件数 延べ32件（内認定0件） 成年後見制度相談については、家庭裁判所や医療機関と連携を図りながら対応している。 虐待対応では、相談・通報等受付けた際は聞き取り、情報収集、訪問調査を行い、事実確認後コアメンバー会議を開催し対応方針を決定した。
				○生活支援体制整備事業 介護予防するとともに、要介護状態となった場合においても、可能な限り地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援するため、地域全体で高齢者を支える体制づくりを進める。	○生活支援体制整備事業 15,762,044円 ・第1層協議体会議 3回開催 参加者延べ40人 ・地域の支え合い講座 1回開催 参加者15人 ・地域の支え合いフォローアップ講座 1回開催 参加者5人 ・第1層・第2層ＳＣ情報交換会 6回開催 ・第2層協議体 社会福祉協議会に委託 委託料 4,200,000円 地域住民や各種団体、企業の関係者等で構成される協議体会議の開催や生活支援コーディネーター（ＳＣ）を2名配置し、各サロン・集いの場への活動支援として「仙北市集いの場おたすけ一覧」の作成、「資源リスト」の更新等に取り組み、地域全体で高齢者を支える体制づくりに寄与した。
				○認知症地域支援・ケア向上事業 認知症の方やその家族への支援体制強化と認知症ケアの向上を推進する。	○認知症地域支援・ケア向上事業 556,848円 ・オレンジカフェ（認知症カフェ）実施団体に補助金交付 4団体 295,000円 ・直営オレンジカフェ（認知症カフェ） 12回開催 認知症の方やその家族、地域の人など誰でも気軽に集うことができる場としてオレンジカフェを定期的に開催した。専門職による相談対応や認知症についての理解を深めることができ、地域で支える環境を整備するとともに認知症の方等の社会参加の機会の創出に寄与した。
				○地域ケア会議推進事業 高齢者が安心して暮らせる地域づくりを目指し、困難事例や広域的な課題について多機関・多職種で検討し、総合的な調整や推進を図る。	○地域ケア会議推進事業 253,180円 ・地域個別ケア会議 15回開催 （16事例） ・自立支援型地域ケア会議 8回開催 （2事例×4回） ・地域ケア推進会議 2回開催 多職種が連携し、個別ケース支援内容の検討をする個別ケア会議や支援が必要になった原因に応じて、実現可能な目標設定と改善可能性のある機能に働きかける支援方法を検討する自立支援型ケア会議の開催により地域課題を抽出し、地域ケア推進会議で情報交換、課題解決に向けた話し合いを行い施策の検討に繋げた。

3 款 民 生 費 2 項 児 童 福 祉 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
1,839,729,000	1,737,484,908	0	102,244,092	○ひとり親家庭福祉事業費 ひとり親家庭の相談指導、子育て・生活の支援、資金の貸付	○ひとり親家庭福祉事業費 3,941,005円 ・母子・父子自立支援員報酬・費用弁償、消耗品費等 世帯数 270世帯(母子237、父子33) ・ひとり親家庭の相談件数 64 件 ・ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金 0件 0円 ・ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金 0件 0円 ひとり親家庭の親や子どもの悩み、就学、就職、経済的自立などの相談に母子・父子自立支援員が応じ、生活の不安解消や自立のための指導を行っている。
				○子ども・子育て支援推進事業費 仙北市こども計画を策定する。	○子ども・子育て支援推進事業費 7,282,245円 ・子ども・子育て会議 3回 委員報酬、費用弁償等 ・アンケート実施 ・仙北市こども計画に係る調査業務委託 こども・若者と子育て当事者が身体的・精神的・社会的に幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指して事業を進めるための「仙北市こども計画」を策定できた。
				○子育てファミリー支援事業費 平成30年4月2日以降に第3子以降の子が生まれ、かつ、その子を含む3人以上の子を養育する世帯に対し、市が指定する有料の子育て関連サービスに充当できるサポート券(15,000円相当)を交付する。	○子育てファミリー支援事業費 1,443,845円 ・サポート券精算額 1,338,000円 ※サポート券交付件数 92件 1,380,000円 相当 ・事業に係る事務的経費 105,845円 平成30年4月2日以降に第3子以降の子が生まれ、かつ、その子を含む3人以上の子を養育する家庭を経済的に支援することで、児童福祉の向上を図ることができた。
				○育児支援金給付事業費 仙北市の次代を担う子どもの健やかな成長を願い、満1歳及び満2歳の誕生日を迎えた子育て世帯に対し、対象児童1人当たり15,000円を支給する市の独自事業。	○育児支援金給付事業費 2,245,000円 ・育児支援金 1歳児 76人 2歳児 72人 2,220,000円 ・支給に係る事務的経費 25,000円 子どもの誕生日という節目を迎える子育て世帯に対し、共に子どもの健やかな成長を願う事を伝え、仙北市で育児する保護者を支援した。
				○出産準備金給付事業費 妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型相談支援の充実を図るとともに、妊娠届出や出産届出を行った妊婦等に対し、経済的支援(計100,000円)を支給する事業。	○出産準備金給付事業費 5,922,288円 ・出産応援ギフト対象者 51人 ・子育て応援ギフト対象者 67人 ・支給に係る事務的経費 22,288円 妊娠期から出産・子育てまで継続的に相談支援するとともに、経済的支援(計100,000円)を支給することで、子育て支援につながった。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要																																							
				計画	実績及び効果																																						
				○こども家庭センター運営事業費 令和6年4月にこども家庭センターを設置。こども、子育て世帯、妊産婦等に対し、母子保健・児童福祉両機能が一体的支援を行い、両機能の連携、協働を深め、虐待予防や子育てに困難を抱える家庭等に対して切れ目ない支援を提供していく。また、地域において子育てに関するニーズを把握し、必要な社会資源の開拓を行い、関係機関との連携強化に努める。 ※子ども家庭総合支援拠点は令和7年3月31日付けで廃止。	○こども家庭センター運営事業費 5,105,657円 ・個別相談実件数（延べ対応件数） 新規相談 78件（493件） 継続相談 90件（1,159件） 特定妊婦 3件（18件） ・関係機関との連携のため以下の会議を開催 ①合同ケース会議 21回 ②就学前児童に関する支援機関連携会議 4回 ・サポートプラン作成・手交件数（児童福祉） 21件 ・親子関係支援事業 個別8件、集団9件 ・児童虐待防止キャンペーン事業 個別相談 1件 講話参加者 9組 相談内容に応じて必要な機関と連携しながら、子育てに関する困りごとについて、両機能で一体的に取り組む体制整備に努めた。また、育児に関するペアレントトレーニングを事業化して以降、受講件数が伸びており、今後虐待防止対策等に効果が期待される。																																						
				○児童手当給付費 次世代の社会を担う子どもの育ちを社会全体で応援する観点から、児童を養育する者に支給する手当。法改正前は所得制限内の世帯の中学生までが支給対象だったが、令和6年10月の法改正により、所得制限が撤廃され、高校生年代までの全ての子どもが支給対象となった。また、22歳以下の子を3人以上養育している多子世帯では、第3子以降の手当月額が3万円に増額されるなど、子育て世帯の負担軽減に繋がっている。	○児童手当給付費 229,805,000円 <table><tr><th colspan="2">区分</th><th>延べ人数</th><th>金額</th></tr><tr><td rowspan="3">0歳から 3歳未満</td><td>被用者</td><td>1,570人</td><td>25,425,000円</td></tr><tr><td>非被用者</td><td>405人</td><td>6,945,000円</td></tr><tr><td>特例給付</td><td>人</td><td>0円</td></tr><tr><td rowspan="3">3歳以上 小学校修了前</td><td>被用者</td><td>9,249人</td><td>105,875,000円</td></tr><tr><td>非被用者</td><td>1,611人</td><td>18,230,000円</td></tr><tr><td>特例給付</td><td>84人</td><td>420,000円</td></tr><tr><td rowspan="3">小学校修了後 中学校修了前 ※高校生年代まで</td><td>被用者</td><td>6,043人</td><td>62,830,000円</td></tr><tr><td>非被用者</td><td>924人</td><td>9,800,000円</td></tr><tr><td>特例給付</td><td>56人</td><td>280,000円</td></tr><tr><td colspan="2">合計</td><td>19,942人</td><td>229,805,000円</td></tr></table> 児童を養育している方に児童手当を支給することにより、家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することができた。	区分		延べ人数	金額	0歳から 3歳未満	被用者	1,570人	25,425,000円	非被用者	405人	6,945,000円	特例給付	人	0円	3歳以上 小学校修了前	被用者	9,249人	105,875,000円	非被用者	1,611人	18,230,000円	特例給付	84人	420,000円	小学校修了後 中学校修了前 ※高校生年代まで	被用者	6,043人	62,830,000円	非被用者	924人	9,800,000円	特例給付	56人	280,000円	合計		19,942人	229,805,000円
				区分		延べ人数	金額																																				
				0歳から 3歳未満	被用者	1,570人	25,425,000円																																				
非被用者	405人	6,945,000円																																									
特例給付	人	0円																																									
3歳以上 小学校修了前	被用者	9,249人	105,875,000円																																								
	非被用者	1,611人	18,230,000円																																								
	特例給付	84人	420,000円																																								
小学校修了後 中学校修了前 ※高校生年代まで	被用者	6,043人	62,830,000円																																								
	非被用者	924人	9,800,000円																																								
	特例給付	56人	280,000円																																								
合計		19,942人	229,805,000円																																								
○児童扶養手当給付費 18歳未満の児童を養育している父母又は父母にかわって児童を養育している者に支給する手当。	○児童扶養手当給付費 86,472,850円 全部支給者延べ月人数 958人 一部支給者延べ月人数 1,191人 2子加算延べ月人数 676人 3子以降加算延べ月人数 81人 ひとり親家庭の生活の安定と自立を助け、児童の福祉の増進を図ることができた。																																										
○認可保育園等管理運営費等	○認可保育園等管理費 10,602,400円 市立3園の施設設備に係る管理経費																																										

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要																		
				計画	実績及び効果																	
				○すこやか子育て保育料助成事業費 私立認定こども園、認可保育所、幼稚園、認可外保育所、地域型保育事業の利用者に対して保育料を助成する。	○すこやか子育て保育料助成事業費 36,232,870円 実人数 469人 保育料・副食費を県と共同で助成することにより、子育て世帯の経済的負担を軽減し、子育て支援を図ることができた。																	
				○放課後児童対策事業費 昼間労働等の都合で家庭に保護者のいない小学校児童に対し、遊びや生活の場を与えるため、放課後児童クラブを設置する。	○放課後児童対策事業費 147,871,953円 放課後児童健全育成事業に係る経費 23,157,381円 放課後児童クラブ支援員賃金等 124,714,572円 ・利用児童数（平均実利用児童数） 白樺児童会（生保内小学校内） 66人 ポプラ学園（神代小学校内） 49人 かくのだて児童クラブ（角館児童館内） 55人 かしわっこクラブ（白岩小学校内） 11人 マロンクラブ（西明寺小学校内） 40人 ひのきっこクラブ（桧木内小学校内） 26人 中川っ子クラブ（中川コミュニティーセンター内） 5人 放課後児童クラブの利用児童数が増加傾向にあり、利用満足度も高まっている。																	
				○教育・保育施設給付費 子ども・子育て支援制度の給付対象事業所（私立運営）を利用する児童の施設に交付する。	○教育・保育施設給付費 571,025,380円 教育・保育が必要と認められて給付認定を受けた児童が、市が委託した特定教育・保育施設で行う教育・保育に対して算定された額を、それぞれの施設に対して支払った。また、施設給付費受給により安定した運営ができ、児童の安全安心な対応ができた。																	
				○子ども・子育て支援事業費 ・私立教育・保育施設 施設において集団で教育・保育を行い、子育てを支援する。 【対象施設】 だしのこ園、神代こども園、角館こども園、にこにここども園、ひのきないこども園	○子ども・子育て支援事業費 30,116,491円 角館地区1園、田沢湖地区2園、西木地区2園の一時預かり事業委託料 令和6年度利用児童数 <table><tr><th>こども園名</th><th>人数</th><th>利用回数</th></tr><tr><td>だしのこ園</td><td>5人</td><td>8回</td></tr><tr><td>神代こども園</td><td>13人</td><td>57回</td></tr><tr><td>角館こども園</td><td>8人</td><td>38回</td></tr><tr><td>にこにここども園</td><td>3人</td><td>15回</td></tr><tr><td>ひのきないこども園</td><td>0人</td><td>0回</td></tr><tr><td>合 計</td><td>29人</td><td>118回</td></tr></table>	こども園名	人数	利用回数	だしのこ園	5人	8回	神代こども園	13人	57回	角館こども園	8人	38回	にこにここども園	3人	15回	ひのきないこども園	0人
こども園名	人数	利用回数																				
だしのこ園	5人	8回																				
神代こども園	13人	57回																				
角館こども園	8人	38回																				
にこにここども園	3人	15回																				
ひのきないこども園	0人	0回																				
合 計	29人	118回																				

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
				○就学前教育・保育施設主食費無料化事業費 育児に係る保護者の負担軽減のため、3歳以上児への主食（米飯）の無償提供を行う。	○就学前教育・保育施設主食費無料化事業費 1,516,655円 ・市立保育園3園分 278,877円 ・市で委託している法人の認定こども園5園分 1,237,778円 県産米を地元の米穀店から購入し、食の安全性を保ちかつ安心できる給食を提供する一端を担うことができた。
				○保育補助者雇上強化事業費 保育士の補助を行う保育補助者の雇上げに必要な費用を補助する。	○保育補助者雇上強化事業費 14,028,000円 だしのご園 保育補助 1名 神代こども園 保育補助 1名 にこにここども園 保育補助 1名 ひのきないこども園 保育補助 1名 角館こども園 保育補助 2名 保育所等における保育士の業務負担を軽減し、保育士の離職防止を図ることを目的として、保育士の補助を行う保育補助者の雇上げに必要な費用を補助した。
				○医療的ケア児保育支援事業費 医療的ケアを必要とするこどもの受け入れ体制の整備を推進する。	○医療的ケア児保育支援事業費 8,309,960円 ・神代こども園 人件費（保育教諭・看護師） 8,123,266円 医療的ケア備品 186,694円 医療的ケアを必要とするこどもの受け入れ体制の整備を推進するため、神代保育園における看護師の配置や保育士の研修の受講等に支援を実施した。また、対象園児の健やかな園生活維持できた。
				○社会福祉法人はなさき仙北補助金	○社会福祉法人はなさき仙北補助金 292,041,728円 ・幼保連携型認定こども園の円滑な運営に資する補助金 未就学児が公立、私立どちらを利用しても平等な教育・保育サービスの提供により健やかな成長を図ることができた。

3 款 民 生 費 3 項 生 活 保 護 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事 業 の 概 要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
494,987,000	475,800,245	0	19,186,755	○生活保護費 被保護者に対し、生活の困窮に応じ必要な保護を行い、その最低生活を保障するとともに、自立助長を図る。	○生活保護費 459,832,979円 ・生活扶助費 111,701,923円 ・住宅扶助費 44,781,112円 ・教育扶助費 853,225円 ・介護扶助費 16,341,705円 ・医療扶助費 264,216,191円 ・生業扶助費 164,980円 ・葬祭扶助費 1,533,497円 ・就労自立給付金 197,147円 ・進学・就職準備給付金 300,000円 ・施設事務費 19,743,199円 月平均で259世帯、327人に対し、生活扶助や医療扶助など必要な保護を行い、最低生活を保障するとともに、就労支援により自立を促進し保護からの脱却を図ることができた。

4 款 衛 生 費 1 項 保 健 衛 生 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事 業 の 概 要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
685,668,000	646,146,114	0	39,521,886	○母子保健対策費 健康な母体づくりを目的に、定期的な健康相談の推進、さらに乳幼児の健やかな成長に資する事業を実施する。	○母子保健対策費 9,494,068円 ・妊産婦一般健康診査（延べ人数） 965人 ・妊婦歯科健康診査 24人 ・乳児健康診査（延べ人数） 147人 ・1歳6か月児健康診査 75人 ・2歳6か月児歯科健診 71人 ・3歳児健康診査 73人 ・乳児訪問 65人 妊娠から乳幼児健診までの子どもと母親及び家族への支援体制を整えている。こども家庭センターの児童福祉機能や他関係機関との連携により、健診後のフォロー体制が構築されている。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○心の健康づくり・自殺予防対策事業費 ・平成28年改正の自殺対策基本法は、国、地方公共団体等が自殺対策を総合的に推進し、自殺の防止と自殺者親族等の支援充実を図り、国民が健康で生きがいを持って暮らせる社会の実現を目的とする。仙北市でも同法に基づき市自殺対策計画を策定し、「誰も自殺に追い込まれることのないまち」を目指している。 ・仙北市自殺対策計画に基づき、関係各課、関係機関や各種市民団体と連携しながら、こころの相談事業や市内傾聴ボランティアの支援、ゲートキーパー養成等の人材育成事業、心の健康づくり研修会・自殺予防街頭キャンペーン等の普及啓発事業、中高生に対する若年層対策事業、自殺未遂者支援事業等を行っている。	○心の健康づくり・自殺予防対策事業費 2, 229, 482円 ・高齢者の心の健康づくり教室（笑いヨガ） 4回 57人 ・こころの相談 132回 124人 ・えくぼの会、かだれ（傾聴活動） 45回 381人 ・こころのゲートキーパー養成講座 4回 189人 ・こころのゲートキーパーフォローアップ講座 1回 18人 ・傾聴ボランティア養成講座 2回 29人 ・地区会館での健康教育 6回 89人 ・学生、二十歳の集い参加者への啓発グッズ、リーフレットの配布 4回 1, 684人 ・街頭キャンペーン（パンフレット等配布） 6か所 620人 ・自殺未遂者支援職員研修 1回 12人 ・自殺対策推進協議会 1回 17人 ・こころの健康づくり研修会 1回 111人 令和6年策定の第2期仙北市自殺対策計画に基づき各事業を実施し、令和6年度のこころの相談は延べ124人、ゲートキーパー等の人材育成は延べ189人、街頭キャンペーンは延べ620人に行った。直近5年間の市内自殺者数は年間10人前後で推移し、長期的にみると緩やかに減少している。
				○安心子育て応援事業費 妊娠期からの切れ目ない支援として子育て世代包括支援センター（仙北市版ネウボラ「なないろ」）において、相談等の個別の支援や各種教室等で参加者同士の交流を図る。	○安心子育て応援事業費 6, 425, 285円 ・プラン作成件数 119 件 ・乳児離乳食教室 12回 117 人 ・1歳3か月児健康相談 6回 75 人 ・こんにちは赤ちゃん教室（延べ人数） 8回 49 人 ・おやこで楽しむふれあい講座（延べ人数） 12回 94 人 個別相談できる体制を整え、妊娠期の早期から子育て期まで対応できるようになっている。各教室では交流できる時間を設け、参加者同士が知り合える機会となった。
				○歯と口腔の健康づくり推進事業費 幼児から小中学生の虫歯予防を目指し、フッ化物洗口事業を実施する。	○歯と口腔の健康づくり推進事業費 1, 156, 234円 ・幼児歯科フッ化物塗布 44人 ・2歳6か月児歯科健康教室 69人 ・巡回歯科指導（保育園、認定こども園）（延べ人数） 249人 ・フッ化物洗口実施者数 1, 340人 年長児、小・中学生の希望者を対象にフッ化物洗口を継続実施し、虫歯予防に対する児童生徒の意識付けとなった。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○PHR管理運営事業費 マイナポータルに紐付けられたPHRを活用して健康に関するデータを一元管理し、専用のアプリにより可視化させることで市民のセルフケア意識を向上させ、市全体として健康寿命延伸を目指す	○PHR管理運営事業費 10,000,100円 ・PHR企画・運営業務委託料 10,000,100円 ・アプリダウンロード数 192件 健康教室の参加者や市内小中学校の児童とその保護者へ、アプリの有用性や自己管理の重要性を周知した。今後も健康ポイント事業と連携するなどアプリの付加価値を高めていく。
				○公的医療機関運営費補助金 二次医療圏内で中核的役割を担う大曲厚生医療センターの安定した医療の提供を目的とし運営費の一部を補助する。	○公的医療機関運営費補助金 6,900,000円 補助金を交付することで、救急医療及び小児医療の機能強化並びに地域医療の充実に寄与した。
				○がん患者補正具購入費補助金 がん患者の就労や社会参加を支援するため、補正具購入費に対して助成する。	○がん患者補正具購入費補助金 489,260円 ・頭髪補正具 11件 469,260円 ・乳房補正具 1件 20,000円 がん補正具の購入費を一部助成することで、経済的負担の軽減とQOL向上に寄与した。
				○特定不妊治療費等助成金 特定不妊治療等を受けている市内居住夫婦に対し費用の一部を助成することで、妊娠・出産を支援するとともに、経済的負担を軽減する。	○特定不妊治療費等助成金 567,215円 ・特定不妊治療 3件 169,050円 ・一般不妊治療 9件 398,165円 治療費の一部を助成することで、こどもを希望する夫婦の経済的負担の軽減となり、少子化対策にも寄与している。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
				○予防事業費 予防接種法に基づき、各種予防接種を行い免疫の確保と疾病を予防する。 ヒトパピローマウイルス（HPV） 予防接種では、積極的勧奨が行われなかった平成9年度から平成19年度生まれの方に対してキャッチアップ接種とし、令和4年度から令和6年度の3年間で定期接種として実施する。令和6年度は最終年度となるため、未接種者には積極的勧奨を行い実施する。	○予防事業費 59,842,786円 ・五種混合予防接種（延べ人数） 191人 ・四種混合予防接種（延べ人数） 119人 ・二種混合予防接種 122人 ・麻しん、風しん予防接種（延べ人数） 166人 ・日本脳炎予防接種（延べ人数） 336人 ・BCG予防接種 74人 ・ヒブ予防接種（延べ人数） 99人 ・小児用肺炎球菌予防接種（延べ人数） 290人 ・ヒトパピローマウイルス予防接種（延べ人数） 608人 ・水痘予防接種（延べ人数） 141人 ・B型肝炎予防接種（延べ人数） 214人 ・ロタウイルス予防接種（延べ人数） 157人 ・高齢者インフルエンザ予防接種 4,988人 ・新型コロナウイルス感染症予防接種 880人 ・高齢者肺炎球菌予防接種 77人 ・若年者等インフルエンザ予防接種（延べ人数） 1,402人 ・おたふくかぜ予防接種（延べ人数） 123人 ・帯状疱疹ワクチン予防接種（延べ人数） 315人 ・大人の風しん予防接種 26人 ・緊急風しん対策（抗体検査） 127人 ・〃（予防接種） 24人 感染症の蔓延防止につながっており、身体への負担と経済的負担の軽減となった。
				○健康増進事業費 ・各種健（検）診 高齢化社会の中で、疾病予防や健康づくりのほか、保健指導や食生活改善等一貫した保健サービスの確立を目指し実施する。	○健康増進事業費 22,155,581円 ・各種健（検）診 一般健診 34人 胃がん検診 917人 大腸がん検診 1,269人 子宮がん検診 313人 乳がん検診 386人 前立腺がん検診 932人 骨粗しょう症検診 95人 肝炎ウィルス検診 88人 肺がん検診 2,477人 歯周疾患検診 123人 健（検）診の必要性について、広報やホームページへの掲載、LINE配信、老人クラブなど健康教育の場で説明することにより周知した。また、受診者に対しては結果説明会や訪問指導を実施し、生活習慣病予防及び行動変容に結びつけた。
				○大腸がん予防事業費 日本医療研究開発機構の研究事業である大腸がん検診の研究（比較試験）に参画する中で、仙北市における大腸がんによる死亡者の撲滅を目指す。	○大腸がん予防事業費 5,367,416円 ・受診者数 1,769人 人口動態により対象者は減っているものの、受診勧奨により一定した受診率維持に寄与した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○MR I 検診補助金 市立角館総合病院が導入した無痛MR I 乳がん検診を活用し、従来実施していたマンモグラフィに加え多様な検診方法を提供することにより検診の機会を増やす。	○MR I 検診補助金 554,670円 ・受診者数 50人 検診費の一部を助成することで、経済的負担の軽減に寄与した。
				○浄化槽設置整備事業費 循環型社会形成推進地域計画に基づき浄化槽整備を実施する。 ・循環型社会形成推進交付金 (個人設置型合併浄化槽) 5人槽 22 基 7人槽 3 基 計 25 基 ・単独 5人槽 2 基 7人槽 0 基 計 2 基	○浄化槽設置整備事業費 12,132,000円 ・循環型社会形成推進交付金 10,002,000円 5人槽 22基 (390,000円×22基=8,580,000円) 7人槽 3基 (474,000円×3基=1,422,000円) 計 25基 (財源内訳) 国費 3,334千円 県費 3,334千円 市費 3,334千円 計 10,002千円 ・単独分 2,130,000円 5人槽 2基 (390,000円×2基=780,000円) 嵩上げ補助 (50,000円×27基=1,350,000円) 集合処理区域外で、浄化槽の普及率の向上を目的に雑排水対策を推進し、環境保全に寄与した。
				○不法投棄監視費 市内各地に不法投棄されるごみの対策として、監視員を配置し巡回パトロールを行う。また、不法投棄禁止の看板設置により、環境美化の意識高揚を図る。	○不法投棄監視費 253,973円 ・回収件数 6件 ・タイヤ処理本数 36本 不法投棄監視員による巡回を田沢湖・角館・西木の3地区で行い、山間部を中心に巡回し発見に寄与した。投棄者の確認ができるものや悪質な案件に対しては警察に届け、摘発に努めている。また、啓発看板や立札、監視カメラをを設置し防止にも努めている。
				○猫不妊去勢手術費補助金交付事業費 近隣住民の生活環境悪化を未然に防止するため、猫の望まれない繁殖の抑制を図る。また市民の動物への愛護と管理についての意識向上を目的とするため手術費用の一部を補助する。	○猫不妊去勢手術費補助金交付事業 98,000円 ・仙北市猫不妊去勢手術費補助金 メス猫不妊処置件数(1匹あたり10,000円):8匹 80,000円 オス猫不妊処置件数(1匹あたり6,000円):3匹 18,000円 地域内におけるネコの過剰繁殖の抑制と周辺環境の改善、潜在的な近隣トラブルの一因を減らすことに寄与した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○歯科診療所管理運営費 市民の歯科衛生の向上を目指し、歯科診療・健診業務を行う。	○歯科診療所管理運営費 40,736,093円 ・診察日数 210日 ・患者数（延べ） 6,588人 ・1日当たり患者数 31.37人 ・患者1人当たり費用額 6,989.56円 設備の老朽化がみられるが診察台を更新するなどにより診療環境を整え、患者に配慮した診療を行い地域医療に貢献している。
				○西明寺診療所管理運営費 市民の疾病の予防と治療に努め、健康の保持増進を図る。	○西明寺診療所管理運営費 39,401,131円 ・西明寺診療所 診療日数 234日 患者数 11,072人 1日平均 47.3人 ・桧木内診療所 診療日数 48日 患者数 135人 1日平均 2.8人 ・清流苑 診療日数 38日 患者数 961人 1日平均 25.3人 日常の診療、往診、在宅医療、住民健診、予防接種などを継続し、へき地診療所として地域医療に貢献している。
				○国民健康保険特別会計神代診療施設 勘定繰出金 地域における医療の確保、健康の保持・増進を図るため、仙北市国民健康保険神代診療所の運営に係る経費を繰り出す。	○国民健康保険特別会計神代診療施設勘定繰出金 46,500,000円 ・神代診療所 診療日数 190日 患者数 4,097人 1日平均 21.56人 神代地区を中心として、地域における医療の確保、健康の保持・増進に寄与している。
				○医療M a a S管理運営事業費 医療機関への受診が容易な市民と、困難な市民との医療格差を解消するため、医療M a a S車両による遠隔診療体制を整備・運営する。	○医療M a a S管理運営事業費 12,808,952円 ・医療M a a S企画・運営業務委託料 4,967,380円 ・利用回数 109回 西明寺診療所への通院が困難な患者を対象としたオンライン診療を行っており、交通弱者の医療格差解消に寄与した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
				○市民浴場管理運営費 温泉を利用した市民の憩いと心身の保養を図る。 指定管理者として、(株)おもてなしせんぱくが管理業務を行っている。 【繰越明許】 令和6年1月に発生した源泉ポンプの故障により源泉井戸孔内洗浄および源泉ポンプの再設置工事を実施する。	○市民浴場管理運営費 16,860,620円 ・利用者総数 27,557人 内訳 - 当日券利用者 12,313人 - 割引券利用者 13,153人 - 無料利用者（小学生以下、障がい者） 1,018人 - 仙北市民憩いの日利用 1,073人 ・営業日数 283日 ・1日当たり利用者数 97人 ・入湯料 14,627,800円 ・入湯税 4,000,050円 【繰越明許】 9,790,000円 ・東風の湯源泉井戸孔内洗浄及び源泉ポンプ再設置工事 9,790,000円 令和6年6月1日をもって工事を終了し、通常どおりの営業を再開している。工事終了後の利用者数は例年並みに回復している。

4 款 衛 生 費 2 項 水 道 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
175,417,000	125,045,767	49,900,000	471,233	○水道事業会計補助金 地方公営企業繰出金通知に基づき要求される経費を計上する。	○水道事業会計補助金 160,964,000円 地方公営企業法に定める経営に関する基本原則を堅持しながら、地方公営企業の経営健全化を推進し、その経営基盤を強化するため水道事業会計に繰出しを行う。
				○相内潟小規模水道管理運営費 安全・安心な水道水の供給を安定的に行うための管理運営に係る事業を実施する。	○相内潟小規模水道管理運営費 1,979,961円 ・年度末給水戸数 7戸 ・総使用水量 882m ³ 水道設備の維持管理、老朽化した設備の更新等を適切に行うことで、安心・安全な水道水を安定的に供給した。
				○大場地区専用水道管理運営費 安全・安心な水道水の供給を安定的に行うための管理運営に係る事業を実施する。	○大場地区専用水道管理運営費 1,199,934円 ・年度末給水戸数 28戸 ・総使用水量 3,270m ³ 水道設備の維持管理、老朽化した設備の更新等を適切に行うことで、安心・安全な水道水を安定的に供給した。
				○潟尻地区専用水道管理運営費 安全・安心な水道水の供給を安定的に行うための管理運営に係る事業を実施する。	○潟尻地区専用水道管理運営費 10,801,872円 ・年度末給水戸数 4戸 ・総使用水量 1,861m ³ 水道設備の維持管理、老朽化した設備の更新等を適切に行うことで、安心・安全な水道水を安定的に供給した。

4 款 衛 生 費 3 項 病 院 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
1,100,000,000	1,100,000,000	0	0	○病院事業会計補助金 地方公営企業法の規定に基づき一般会計から病院事業会計に補助金を繰り出しする。	○病院事業会計補助金 1,100,000,000円 ・田沢湖病院 300,000,000円 ・角館総合病院 800,000,000円 安定的な病院運営を支援した。

4 款 衛 生 費 4 項 清 掃 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
819,478,000	818,957,744	0	520,256	○廃棄物減量化対策費 計画収集により回収した資源ごみを適切に再資源化する。	○廃棄物減量化対策費 452,892円 ・再資源化実績 資源びん11,872kg、発泡スチロール1,057kg 資源ごみの適切な処理、及び、減量化が図られた。
				○塵芥処理費 一般家庭から排出される廃棄物の安定した収集運搬等を行う。	○塵芥処理費 78,051,482円 ・一般費器物収集運搬業務委託料 家庭ごみ収集カレンダーに基づき、ごみ集積所からの取集運搬を滞りなく行った。

5 款 労 働 費 1 項 労 働 諸 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
74,665,000	74,256,018	0	408,982	○雇用創出助成金 市内事業所に正社員として就職した、市内に居住する新規学卒者に対し就職応援金を交付する。	○雇用創出助成金 700,000円 ・ふるさと就職応援金分 700,000円 支給人数 14人 就職応援金を交付し、市内への移住定住を促すとともに、就職に係る経費負担を軽減させ、雇用の安定化が図られた。

6 款 農 林 水 産 業 費 1 項 農 業 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事 業 の 概 要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
752, 091, 000	635, 389, 432	107, 046, 000	9, 655, 568	○農地利用最適化交付金事業費 農業委員会の積極的な活動を推進するため、農業委員及び農地利用最適化推進委員の活動及び成果の実績に応じ、農業委員及び農地利用最適化推進委員の報酬及び農地利用の最適化活動を支援する。	○農地利用最適化交付金事業費 811, 420円 ・推進委員等による最適化活動推進事業 推進委員等の報酬 0円 所有者等に対する意向調査 791, 730円 ・農地利用の最適化の推進のための支援事業 19, 690円 農地の出し手・受け手のニーズをマッチングさせる委員活動を推進することで、農地利用最適化の推進に寄与した。農地集積・集約化の活動により令和6年は124. 8haの農地集積が行われた。
				○中山間地域等直接支払事業費 農業生産上、条件が不利となる中山間地域において、荒廃が懸念される農地を対象として、共同取組活動を推進し、耕作放棄地の抑制や多面的機能を確保する。	○中山間地域等直接支払事業費 10, 648, 648円 ・補助金 10, 549, 207円 (うち国費5, 274, 601円 うち県費2, 637, 299円) ・需用費、役務費 99, 441円 (うち国費48, 000円) 補助金が、市内の12集落協定(田沢湖地区7、角館地区3、西木地区2)により効果的に活用され、条件不利農地の保全と多面的機能の確保が継続されている。
				○グリーンツーリズム推進事業費 農家民宿・農家レストラン及びアウトドアを含む農山村地域への誘客活動と農家民宿の多言語パンフレットの増刷を行い滞在時間の増加を目指す。	○グリーンツーリズム推進事業費 1, 534, 360円 ・ツーリズムE X P O等参加旅費 71, 740円 ・グリーンツーリズムP Rリーフレット増刷代 356, 400円 (日本語1, 500部・英語1, 500部 繁体字1, 000部・タイ語2, 000部) ・秋田花まるっグリーンツーリズム推進協議会負担金 200, 000円 ・農山村体験推進協議会補助金 700, 000円 ・料理講習会講師謝礼 10, 000円 ・消耗品、通信運搬費等 196, 220円 北海道、岩手県からの依頼による当市の取組事例講演や、国内最大級の旅行博に協議会と共に参加するなど、国内のみならず海外からの誘客へ向けたP R活動を実施した。また、農家民宿の多言語パンフレットの増刷を行い、現地でのセールス活動等で活用した。令和6年の農家民宿全体の入込数は18, 066人(うち外国人宿泊者数4, 000人)となり、過去最大数となった。当市は「第8回ジャパン・ツーリズム・アワード」において審査員特別賞を受賞し、地域経済の活性化へ寄与している点で評価を得た。新規事業として、農家民宿等オーナー対象の料理講習会を開催、受入時の提供メニューとして寒天料理を学んだ。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○経営所得安定対策推進事業費 対象事業への取組に対して国が交付金を交付し、農業経営所得の安定化を図る。	○経営所得安定対策推進事業費 9,727,625円 (うち国費9,572,000円) ・生産調整事務補助 4,780,025円 ・水田管理システム使用料 831,600円 ・補助金(仙北市地域農業再生協議会へ) 4,116,000円 交付金交付事務を円滑に進めることができ、農家の経営所得の安定化に寄与した。
				○薬用作物等産地拠点化支援事業費 国内需要の拡大が見込まれる薬用作物に取り組み、所得向上と経営安定を図るため、生薬メーカーと連携し薬用作物等の産地化を推進する。	○薬用作物等産地拠点化支援事業費 105,000円 ・交付件数 1件 105,000円 市内の気候や土壌にあった薬用作物(モッコウ、カノコソウ)の効率的・安定的な栽培に向けた技術の向上に寄与した。
				○地域計画策定推進緊急対策事業費 地域での話し合いにより、目指すべき将来の農地の姿に向けた農地集約等の取組を加速し、担い手の確保とともに農地の適切な利活用を推進する。	○地域計画策定推進緊急対策事業費 537,000円 ・地域計画の策定にかかる事務費等 537,000円 (うち国費533,000円) 10地域の策定により、令和5年度策定済みの4地域と合わせて、市内全14地域の「地域農業経営基盤強化促進計画(地域計画)」の策定が完了した。
				○仙北市畑作園芸等振興事業費補助金 水田を活用した園芸作物等の産地を育成するため、畑作物の生産性向上、省力化、規模拡大を目的とした農業者に対し、必要な機械・資材等の導入を支援する。	○仙北市畑作園芸等振興事業費補助金 2,624,000円 ・交付件数:12件(機械5件、種苗7件) 2,624,000円 園芸作物の新規作付・規模拡大に対し、機械・資材などを支援することにより、米偏重の農業経営からの脱却、高収益作物等の産地づくり化の推進に寄与した。
				○新規就農総合支援事業費補助金 青年の新規就農と就農後の定着を図るための経営安定を支援し、地域農業の担い手を育成する。	○新規就農総合支援事業費補助金 9,390,000円 ・交付件数:5件(継続3件、新規1件、経営発展1件) 9,390,000円 (うち国費8,260,000円 うち県費1,130,000円) 新規就農者の安定的な経営と経営発展に支援することで、新規就農者の確保、育成を推進した。
				○農業用マルチコプター導入事業費等補助金 農業用マルチコプターの導入及び技能取得に対し補助し、農作業の省力化や効率化を図る。	○農業用マルチコプター導入事業費等補助金 2,240,000円 ・機体取得助成 4件 1,942,000円 ・技能認定証取得助成 5件 298,000円 農業用マルチコプターの導入により、事業利用者の防除及び施肥における作業時間の短縮や省力化など防除体制の確立に寄与した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○夢ある園芸産地創造事業費補助金 米依存からの脱却に向けた戦略作物の産地化と収益性の高い農業経営の確立を図る。	○夢ある園芸産地創造事業費補助金 13,767,000円 ・交付件数：6件（施設・機械等） 13,767,000円 （うち県費 10,327,000円） 米依存からの脱却に向けた作物への取組に支援し、収益性の高い農業経営の推進に寄与した。
				○農業経営等復旧・継続支援対策事業費補助金 令和5年7月の大雨被害を受けた農業者の再生産に向けた取組に対して助成する。	○農業経営等復旧・継続支援対策事業費補助金 1,687,000円 ・交付件数：14件（種子、種苗購入など） 1,687,000円 （うち県費1,687,000円） 水稻、大豆、野菜、花き等において大雨被害を受けた農業者の再生産に向けた取組を支援し農業経営の再建に寄与した。
				○秋田アグリフロンティア育成研修費補助金 新規就農を目指す若者を対象とし、秋田県農業試験場等で研修する研修生に助成する。	○秋田アグリフロンティア育成研修費補助金 1,200,000円 ・交付件数：1件 1,200,000円 （うち県費630,000円） 農業で自立しようとする意欲を後押しし、市内新規就農者の育成・確保につながった。
				○農業経営等復旧・継続支援対策事業費補助金（令和6年大雨）農業 令和6年7月の大雨被害を受けた農業者の営農継続に向けた取組に対し助成する。	○農業経営等復旧・継続支援対策事業費補助金 101,000円 （令和6年大雨） ・交付件数：2件（追加防除） 101,000円 （うち県費101,000円） 野菜、花き等において大雨被害の回復のために発生した追加作業経費に対し支援し営農の復旧・継続に寄与した。
				○大覚野牧場管理運営費 牧場環境及び作業機械等の維持管理を行い、肉用牛農家の預託放牧、乾草の生産販売等を実施する。	○大覚野牧場管理運営費 11,082,272円 ・放牧料、乾草販売収入 3,261,300円 ・主な経費 会計年度任用職員報酬等（3人＋短期2人） 6,069,688円 作業機械等燃料費（軽油） 548,763円 作業機械等修繕料 850,609円 牧場維持管理原材料費（肥料、牧柵等） 2,029,500円 牧場環境の整備及び作業機械等を適切に維持管理し、放牧牛の受入れ、乾草の生産販売を行うことにより、畜産農業経営の省力化、飼料コスト低減に寄与した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○仙北市堆肥センター管理運営費 堆肥センター施設及び作業機械等を維持管理し、家畜排泄物の受入れ、堆肥生産・販売を行う。	○仙北市堆肥センター管理運営費 16,306,368円 ・堆肥販売収入 2,414,970円 ・主な経費 会計年度任用職員報酬等（2人） 7,215,359円 電気料（大型攪拌機、送風機等） 1,219,146円 作業機械等修繕料 3,057,769円 屋根修繕工事費（風害） 1,947,000円 堆肥センター施設の整備及び作業機械等を適切に維持管理し、堆肥の生産・販売を行うことにより、家畜排泄物の適正な処理の促進とともに資源循環型農業の取組に寄与した。
				○草地畜産基盤整備事業（草地整備型）公共牧場整備事業費 肉用牛農家の飼育環境の充実、効率化を図るため、市営大覚野牧場の草地整備改良と牧場用機械の整備を4か年（令和3～6年度）計画で行う。	○草地畜産基盤整備事業（草地整備型）公共牧場整備事業費 27,932,000円 ・負担金 27,932,000円 ・事業主体：秋田県農業公社 ・草地整備7.63ha、隔障物整備250m、放牧馴致施設1カ所、牧場作業機械4台 年次計画の最終年度として、予定どおり牧場の放牧環境改善及び乾草増産に向けた段階的な整備を実施した。
				○家畜導入事業費補助金 育種価評価に基づき発育、資質ともに優れた育成子畜を家畜市場等より導入し、家畜改良の促進、優良子畜生産基盤の確立に資する。	○家畜導入事業費補助金 2,410,000円 ・優良雌牛導入事業 2頭 130,000円 ・優良牛自家保留事業 20頭 600,000円 ・肥育素牛導入事業 75頭 1,680,000円 発育、資質ともに優れた育成子畜について、家畜市場等からの導入を進めることで、家畜改良の促進、優良子畜生産基盤の確立を推進した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
				○夢ある畜産経営ステップアップ支援事業費補助金 優れた育成子畜を家畜市場等より導入し、家畜改良の促進、優良牛生産基盤の確立に資する。	○夢ある畜産経営ステップアップ支援事業費補助金 4,038,539円 ・繁殖雌牛導入型 8頭 ・自給飼料生産拡大 1台（カッティングロールベラー） ・補助金 3,666,000円（うち県費 2,935,000円） ・償還金 372,539円（対象農家からの返還分） 市内の意欲ある畜産農家に対し、繁殖用雌牛の増頭支援を行ったことにより、畜産経営の推進に寄与した。
				○農地集積加速化基盤整備事業費 田沢湖生保内南地区・田沢湖神代地区の農地集積加速化基盤整備事業に対して負担する。	○農地集積加速化基盤整備事業費 51,900,000円 ・事業対象：神代地区 負担金（事業費負担） 51,900,000円 【繰越明許】 30,875,000円 ・事業対象：生保内南地区 負担金（事業費負担・分担金） 875,000円 ・事業対象：神代地区 負担金（事業費負担） 3,000,000円 農地・水路・農道を一体で整備することにより、大型機械の導入が可能となり作業効率の向上が見込まれる。また、汎用田化し農業法人に集約することにより、大規模経営が可能となり、多品目の作物を作付することができ、農業収入の増加が見込まれる。
				○多面的機能支払交付金事業費 農地・農業用施設の保全や地域環境の保全、地域コミュニティの活性化を推進するため共同活動への支援を実施し、地域全体の保全管理の取組強化を図る。	○多面的機能支払交付金事業費 175,664,619円 ・事業対象：角館地区＝14組織 田沢湖地区＝16組織 西木地区＝19組織 計 49組織 報酬：2,310,332円 手当等：920,552円 共済費：528,915円 旅 費：24,000円 需用費：801,144円 役務費：143,170円 賃借料：362,924円 返還金：3,883,682円 補助金：農地維持 104,189,700円 資源向上 62,500,200円 農家のみならず非農家を含む地域住民による共同活動や地域交流により、農業の有する防災機能及び自然環境の保全等機能が維持管理された。
				○元気な中山間農業応援事業費 中山間地域において高収益作物への取り組みを推進するため、水田の畑地化整備を実施する。	○元気な中山間農業応援事業費 2,600,000円 ・事業対象：生保内3地区 負担金 2,600,000円 【繰越明許】 1,350,000円 ・事業対象：生保内3地区 負担金（事業費負担） 1,350,000円 水田畑地化により条件不利な中山間においても収益性の高い品目への取り組みが可能となった。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
				○農地中間管理機構関連ほ場整備事業費 角館中川地区・角館大瀬蔵野地区の農地中間管理機構関連ほ場整備事業に対して負担する。	○農地中間管理機構関連ほ場整備事業費 27,740,000円 ・事業対象：中川地区 負担金（事業費負担） 17,900,000円 ・事業対象：大瀬蔵野地区 負担金（事業費負担） 9,840,000円 【繰越明許】 47,900,000円 ・事業対象：中川地区 負担金（事業費負担） 47,900,000円 農地・水路・農道を一体で整備することにより、大型機械の導入が可能となり作業効率の向上が見込まれる。また、汎用田化し農業法人に集約することより、大規模経営が可能となり、多品目の作物を作付することができ、農業収入の増加が見込まれる。
				○花葉館施設整備事業費 花葉館設備維持に伴う経費	○花葉館施設整備事業費 20,270,470円 需用費 1,829,190円 役務費 130,900円 委託料 2,469,500円 工事請負費 14,399,000円 備品購入費 1,441,880円 花葉館の不具合箇所を工事することにより、施設の安定的かつ継続的な運営が可能となった。

6 款 農 林 水 産 業 費 2 項 林 業 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
178,713,000	160,243,351	0	18,469,649	○有害鳥獣駆除事業費 農産物・林産物の被害防止のため有害鳥獣駆除を実施する。急増するツキノワグマへの対応策を強化すると共に、新規猟友会員の増加を図る。	○有害鳥獣駆除事業費 13,743,474円 ・有害鳥獣対策実施隊出動実績 ①申請許可申請 田沢湖28件 角館 4件 西木20件 ②口頭許可申請 田沢湖 0件 角館 0件 西木 1件 ③出動延べ人数 田沢湖7,738人 角館1,217人 西木591人 令和6年度のクマの捕獲頭数は54頭。農林産物の被害軽減、住民の生命・身体等に係る被害を防止した。
				○林道維持補修費 インフラ長寿命化対策として、林道改良事業費補助金を活用して林道橋の点検診断を行い、必要があれば補修する。主に森林環境譲与税を財源に実施する。	○林道維持補修費 42,649,200円 ・橋梁点検等調査箇所数 7件 ・林道維持作業 98路線 草刈りや洗掘補修・土砂撤去などにより林道の荒廃を防止するとともに、林道橋点検診断により補修の要否について把握に努めた。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
				○森林経営管理制度事業費 管理の行届いていない私有林人工林の整備促進を図るため、森林所有者の調査や整備に関する意向確認、林地台帳の整備、経営管理権集積計画の策定等を実施する。	○森林経営管理制度事業費 30,136,004円 意向調査対象面積 47.97ha 経営管理権集積計画作成面積 32.32ha 経営管理権設定森林間伐面積 21.01ha 森林情報デジタル化推進事業負担金 19,592,504円 近年手入れをしていない人工林の森林整備が実施され、林業の持続的発展及び森林の有する多面的機能の発揮に寄与した。
				○秋田林業大学校研修費補助金 地域を支える若手林業技術者を育成するため、秋田林業大学校における研修費の一部を助成する。	○秋田林業大学校研修費補助金 356,400円 ・補助金利用者数 3名 秋田林業大学校に在籍する1年生2名、2年生1名に対し補助を行った。
				○再造林支援事業費補助金 森林の有する公益的機能の発揮と林業の持続的発展のため、私有林人工林における植栽・下刈りへの補助を行う。	○再造林支援事業費補助金 2,637,000円 植栽面積 8.68ha 下刈り面積 14.04ha 森林経営計画策定森林において、植栽・下刈りへ補助を行った。
				○人材育成・担い手支援事業費補助金 林業担い手確保のため、新規正規雇用者1人あたり15万円を林業経営者へ支援する。	○人材育成・担い手支援事業費補助金 750,000円 新規雇用者 5人 林業経営体に対し補助金を交付することで、地域の林業担い手確保に寄与した。

6 款 農 林 水 産 業 費 3 項 水 産 業 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
1,372,000	1,372,000	0	0	○農業経営等復旧・継続支援対策事業費補助金（令和6年大雨）水産 令和6年7月の大雨被害を受けた水産業者の経営継続に向けた取組に対し助成する。	○農業経営等復旧・継続支援対策事業費補助金 1,072,000円 （令和6年大雨）水産 1,072,000円 ・交付件数：1件（稚魚購入）（うち県費1,072,000円） ヤマメ養殖において、大雨による流失被害の回復のため、稚魚の購入経費に対し支援し経営の復旧・継続に寄与した。

7 款 商 工 費 1 項 商 工 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
867,986,000	853,523,653	0	14,462,347	○特産物販売促進対策費 首都圏で開催される観光物産展の参加に係る経費に加え、市内の小規模事業者の出店等販売活動に係る経費の一部を支援する。	○特産物販売促進対策費 625,770円 ・旅費 400,020円 令和元年より町田市「ぼっぼ町田」で開催している観光物産展「山の楽市」に参加し、市の観光や特産品のPRを行った。 ・使用料及び賃借料 50,000円 これが秋田だ！食と芸能大祭典2024 市町村PRブース出展料。全市町村が参加し、毎年5月に開催される。市内のお土産等を市内業者から預かり、PRブースで販売を行う。パンフレット等も多く配布し、市特産品や観光地の魅力を効果的にアピールし、来場者の関心を引いた。 ・物産展出店支援事業補助金 136,000円 補助対象：4事業者（内 首都圏での参加事業者：3事業者） 市内の小規模企業者が首都圏等で開催されるイベント等に出向いて行う市内産品の販売活動に要する経費の一部を補助し、市内産品の販売促進に寄与した。
				○企業誘致対策事業費 企業誘致活動及び工業団地の維持管理を実施する。	○企業誘致対策事業費 2,835,988円 ・県派遣職員等企業誘致関連旅費 489,525円 ・草刈・植木剪定・支柱撤去作業委託料 615,233円 ・誘致PR業務（モニターツアー）委託料 693,000円 ・PR動画制作業務委託料 999,900円 企業誘致に向けて、秋田県庁出向職員の企業誘致活動、仙北市視察ツアー及びPR動画の作成、田沢湖黒沢工業団地の維持管理に努めた。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
				○仙北市商工会補助金 商工業をめぐる地域の諸課題に的確に対応していくため、仙北市商工会の活動を支援する。	○仙北市商工会補助金 9,900,000円 ・通常事業分 6,600,000円 企業に対して各種融資制度の斡旋や専門家等派遣による支援を行い、地元企業の活性化を図るとともに、経営能力向上やネットワーク拡充を目的としたセミナーを開催し、若手経営者や女性経営者の育成に寄与した。 ・観光と物産展 山の楽市 2,300,000円 東京都町田市ぽっぽ町田を会場に物産展「山の楽市」を、10月18日～20日、12月13日～15日の2回開催した。開催期間の売上合計金額は10月開催が約3,761,000円、12月開催が約4,765,000円、合計約8,526,000円(前年比約1,226,000円増)と前年度より増加した。リピーターの方の利用も多く、市内特産品の販路開拓と継続的な活性化に寄与した。 ・商店街賑わい創出事業 400,000円 2月15日～3月3日まで昔から受け継がれているお雛様を展示する「角館雛めぐり」を開催し中心市街地の賑わいを創出した。 ・市内起業家育成支援事業 600,000円 起業、創業を希望する受講者5名に対して創業に係る基礎知識の習得を目的としたセミナーを3回(11月10日、17日、24日の3日間)開催し、創業しやすい環境の整備に寄与した。
				○空き店舗等利活用事業費補助金 空き店舗を活用し、賑わいある商店街づくりを推進する。	○空き店舗等利活用事業費補助金 270,000円 ・補助対象：3事業者 飲食業(2)、シェアオフィス(1) 空き店舗を活用した事業者に対して店舗賃借料の一部を支援し、空き店舗解消を促進するとともに新規創業を生み出した。
				○企業立地奨励金 産業の振興と雇用の拡大を図るため、企業立地促進条例に定められた奨励金を交付する。	○企業立地奨励金 7,858,480円 ・固定資産税相当額奨励金(5社) 7,768,800円 ・借地助成金(1社) 89,680円 奨励金の交付により、市内企業の事業拡大を促進し雇用機会の拡大に寄与した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要																																				
				計画	実績及び効果																																			
				○観光施設維持管理費 国立公園、県立公園や各施設を訪れる観光客の安全と適正利用を図る。	○観光施設維持管理費31,085,534円 ・報酬1,211,632円 ・職員手当等101,095円 ・共済費198,762円 ・旅費235,394円 ・需用費6,036,120円 - 消耗品費529,076円 - 燃料費39,652円 - 光熱水費4,562,980円 - 修繕料904,412円 ・役務費2,859,894円 - 通信運搬費1,709,510円 - 手数料1,084,253円 - 火災保険料66,131円 ・委託料13,146,339円 ・使用料及び賃借料1,505,564円 ・工事請負費5,755,200円 - 刺巻湿原木道新設工事2,937,000円 - 黒森展望台四阿解体工事2,818,200円 ・原材料費35,534円 各観光施設の経常的な維持管理のほか、利便性を高めるための新設工事、四阿の解体工事を行うことで、安心安全で快適な環境の整備を行った。																																			
				○観光宣伝費 観光誘客の促進に向けて、ガイドマップなどの増刷やSNSなどを活用した広告宣伝のデジタル化を通じたプロモーション活動や観光キャンペーンを実施する。	○観光宣伝費3,917,870円 ・広告料802,400円<table><tr><td>雑誌等広告</td><td>映像等広告</td></tr><tr><td>8件</td><td>1件</td></tr></table> ・パンフレット等印刷1,480,800円<table><tr><td>項目</td><td>数量</td></tr><tr><td>仙北市観光案内マップ（おもむくままに）</td><td>40,000部</td></tr><tr><td>仙北市温泉ガイドマップ</td><td>15,000部</td></tr><tr><td>仙北市観光ガイドマップ</td><td>20,000部</td></tr><tr><td>水ばしょう祭りリーフレット</td><td>5,000部</td></tr></table> ・旅費609,985円 〈観光キャンペーン等の実施内容〉<table><tr><td>項目</td><td>場所</td><td>期日</td></tr><tr><td>新庄まつり観光交流拡大イベント</td><td>山形県</td><td>8月24日～25日</td></tr><tr><td>m o r e T O H O K Uマルシェ</td><td>宮城県</td><td>9月20日～21日</td></tr><tr><td>観光と物産「山の楽市」</td><td>東京都</td><td>10月18日～20日 12月13日～15日</td></tr><tr><td>船橋駅観光PRキャラバン</td><td>千葉県</td><td>11月15日～16日</td></tr><tr><td>鎌倉駅観光PRキャラバン</td><td>神奈川県</td><td>11月23日</td></tr><tr><td>大宮駅観光PRキャラバン</td><td>埼玉県</td><td>12月12日～16日</td></tr></table>	雑誌等広告	映像等広告	8件	1件	項目	数量	仙北市観光案内マップ（おもむくままに）	40,000部	仙北市温泉ガイドマップ	15,000部	仙北市観光ガイドマップ	20,000部	水ばしょう祭りリーフレット	5,000部	項目	場所	期日	新庄まつり観光交流拡大イベント	山形県	8月24日～25日	m o r e T O H O K Uマルシェ	宮城県	9月20日～21日	観光と物産「山の楽市」	東京都	10月18日～20日 12月13日～15日	船橋駅観光PRキャラバン	千葉県	11月15日～16日	鎌倉駅観光PRキャラバン	神奈川県	11月23日	大宮駅観光PRキャラバン	埼玉県	12月12日～16日
雑誌等広告	映像等広告																																							
8件	1件																																							
項目	数量																																							
仙北市観光案内マップ（おもむくままに）	40,000部																																							
仙北市温泉ガイドマップ	15,000部																																							
仙北市観光ガイドマップ	20,000部																																							
水ばしょう祭りリーフレット	5,000部																																							
項目	場所	期日																																						
新庄まつり観光交流拡大イベント	山形県	8月24日～25日																																						
m o r e T O H O K Uマルシェ	宮城県	9月20日～21日																																						
観光と物産「山の楽市」	東京都	10月18日～20日 12月13日～15日																																						
船橋駅観光PRキャラバン	千葉県	11月15日～16日																																						
鎌倉駅観光PRキャラバン	神奈川県	11月23日																																						
大宮駅観光PRキャラバン	埼玉県	12月12日～16日																																						

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
					仙北市、観光協会、各種自治体などで構成する協議会などで、市単独のみならず広域の観光宣伝活動を実施。クルーズ船利用者によるオプションルツアーなどで来訪者が増加したことなどから、入込客数は令和5年度は3,561,994人に対し、令和6年度は3,900,872人と109.5%増加となった。宿泊者数に関しても令和5年度は460,258人に対し、令和6年度は483,181人と105%の増加、そのうち外国人宿泊者数は令和5年度が25,508人、令和6年度は43,508人と前年比170.6%の増加となった。
				○観光施設整備事業費 駒ヶ岳八合目園地公衆トイレ改修工事設計業務委託、抱返り溪谷歩道改修工事の県事業費に対する仙北市分の負担金。	○観光施設整備事業費 1,495,780円 ・駒ヶ岳八合目園地公衆トイレ改修工事のための設計業務委託 132,000円 ・抱返り溪谷回顧の滝展望台改修工事 1,363,780円 国立公園及び県立自然公園における、安心安全で快適な環境の整備に寄与した。
				○教育旅行支援事業費 岩手県、宮城県、北海道方面に加え首都圏等ターゲット地域を拡大し教育旅行誘致事業を実施する。	○教育旅行支援事業費 1,019,441円 ・教育旅行誘致キャラバン等参加旅費 159,040円 ・体験ガイドマップ増刷代（1,500部） 165,000円 ・教育旅行誘致活動事業業務委託 592,900円 ・消耗品、通信運搬費ほか 102,501円 市内教育旅行事業関係者とともに宮城県仙台市や岩手県盛岡市への誘致キャラバンに加え、首都圏へターゲット地域を広げ誘致活動を実施したほか、あきた広域観光誘客推進協議会や県観光連盟が主催する事業に参加し、北海道への誘致活動も展開した。令和6年の受入人数は14,969人、学校数は213校となった。
				○国際観光宣伝・誘客事業費 タイ、台湾をメインターゲットとして国内外での誘致活動や、多言語パンフレットの増刷等を実施し国際観光の推進を図る。	○国際観光宣伝・誘客事業費 2,818,836円 ・台湾親善大使来仙時活動謝礼 100,000円 ・トップセールス随行旅費(台湾・タイ) 590,075円 ・台北温泉祭り参加旅費 503,251円 ・国内外商談会等参加旅費 431,942円 ・観光ガイドマップ国内増刷代 320,100円 （英語2,000部、繁体字2,000部、タイ語2,000部） ・観光ガイドマップ現地増刷委託費 323,686円 （繁体字1,000部、タイ語1,000部） ・台北温泉祭出展業務委託費 170,500円 ・消耗品、役務費ほか 379,282円 台湾やタイのトップセールスに随行し、知事行程のほかに関係機関へ訪問、多言語の観光ガイドマップを活用した情報発信を行った。また、台北温泉祭りや国内外商談会参加のほか、仙北市台湾親善大使の一青妙氏より市内各所において様々なコンテンツを体験したうえで、滞在時の詳細な感想をSNSにて多数投稿いただいた。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
				○台湾修学旅行誘致促進事業費 冬季の農山村をはじめとする地域の誘客として台湾現地及び日本国内で開催される教育旅行説明会等へ参加し台湾の高校生の修学旅行の誘致を行う。	○台湾修学旅行誘致促進事業費 565,463円 ・台湾教育旅行現地説明会等参加及び学校訪問旅費 542,413円 ・消耗品、使用料 23,050円 台湾現地で開催した教育旅行誘致説明会に参加し、旅行会社と商談を行ったほか、姉妹校をはじめとする学校訪問を実施した。また、都内で行われた日台教育旅行関係者意見交換会にも参加し誘致宣伝を実施した。
				○青少年国際交流事業費 台湾と本市の中学、高校生の相互交流を促進する。令和6年度は台湾教育局関係者の招聘と高校生の訪台事業を行う。	○青少年国際交流事業費 2,704,190円 ・海外団体及び学校交流時記念品代等 190,300円 ・台北教育局招聘事業業務委託料 1,350,800円 ・師範大学附属高級中学姉妹校交流時旅費 484,080円 ・青少年国際交流事業補助金 679,010円 台湾の師範大学附属高校と姉妹校締結をしている角館高等学校の生徒7名が補助金を活用して台湾現地にて学校交流を行った。また、台北教育局を招聘し、観光地視察や農泊などを含めた関係者との意見交換を行い教育旅行誘致を図った。その他、タイやアメリカなどの学生団体の受け入れも実施した。
				○桜まちづくり事業費 角館落合地区・田沢湖下高野地区など市内の文化財指定以外の桜の維持管理の実施及び両地区の桜開花時期に合わせて配信業務を行うことで、桜を活かした地域振興及び誘客を図る。	○桜まちづくり事業費 2,453,118円 ・消耗品費 91,504円 ・燃料費 2,544円 ・修繕料 9,930円 ・手数料 119,977円 ・委託料 2,229,163円 - 草刈り作業業務委託 348,163円 - 桜剪定業務委託 1,362,900円 - 有害鳥獣捕獲業務委託 398,200円 - ライブカメラ配信業務委託 119,900円 桜の開花時期が異なる特性を活かし、長期にわたり桜を楽しむことができるよう、適切な維持管理に努め、開花の様子をライブカメラで配信するなど、回遊性の向上や誘客促進に寄与した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
				○ＧＴ・景観価値を活かした観光活性化事業費（地方創生推進交付金） 仙北市独自の景観価値を最大限に活用し、地域の特色ある取り組みをブラッシュアップしつつ、観光消費額の増加を図る。	○ＧＴ・景観価値を活かした観光活性化事業費（地方創生推進交付金） 15,558,822円 ・デジタル化対応人材育成事業業務 411,400円 ・仙北市地域動態調査業務 1,614,140円 ・グリーンツーリズムブラッシュアップ業務 3,267,000円 ・ＳＮＳ発信事業業務 2,197,360円 ・台湾誘客促進事業業務 3,362,700円 ・タイ誘客促進事業業務 4,186,600円 ・トライアスロン合宿誘致促進事業業務 519,622円 令和4、5年度に引き続き、感染症収束後の国内外観光誘客に向けた徹底的な情報収集として、グリーンツーリズムに特化した動向調査と、タイ、台湾の現地事務所において各国の需要調査および現地ＰＲを実施した。また、観光消費額の向上に向け、市内農家民宿等のプロモーション映像の制作、デジタルインフラ整備の実施、情報発信力が期待されるトライアスリート層等へのアプローチを目的に首都圏へのセールス活動を実施するなど、国内外問わず幅広い客層への誘客促進につながる事業を展開した。
				○リトリート推進事業 国内外からの芸術作品、音楽活動等をはじめとする独自の感性を持っている方を招聘し滞在中の活動を支援する。アーティスト・イン・レジデンスの仙北市版を通してリトリートの推進を行う。	○リトリート推進事業費 1,527,269円 ・リトリート推進モニターツアー事業費補助金 1,527,269円 「ガバメントクラウドファンディング」による寄附金の募集に取組、これを財源として事業にあたった。地域おこし協力隊の溝口隊員が主となり、10月～翌3月にかけてリトリート推進に係るモニターツアーを5回実施し、計10名のアーティストが来訪、滞在した。各自10日程度の滞在期間中に仙北市の豊かな自然や質の良い温泉、食などを体験し、制作作品の披露イベントを開催。参加アーティストと市内若手アーティストの交流やＳＮＳフォロワーへの発信などにより、親和性の高い関係人口の創出へつながる活動を展開した。
				○秋田駒ヶ岳登山利用適正化協議会負担金 秋田駒ヶ岳の自然環境の保全と利用者の快適性及び安全性の確保を図る。	○秋田駒ヶ岳登山利用適正化協議会負担金 2,500,000円 マイカー規制を主軸とした活動を行うことで、秋田駒ヶ岳自然環境の保全と、利用者の快適性及び安全性の確保に寄与した。
				○秋田内陸線・奥羽北線沿線連絡協議会負担金 内陸線の旅パンフレット・WEB版製作事業等の実施を行い、沿線エリアへの誘客を図る。	○秋田内陸線・奥羽北線沿線連絡協議会負担金 1,400,000円 通年版の冊子「秋田内陸線の旅」を発行し、ＪＲ東日本の首都圏や横浜、大宮支社などに配布。また、観光庁の補助事業活用により、沿線4市を巡る1泊2日のパッケージツアーの造成と情報発信のためのウェブサイト構築し、広域による誘客が図られた。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要									
				計画	実績及び効果								
				○温泉事業会計補助金 温泉施設の適正管理による温泉の安定供給を行い、観光振興に寄与する。	○温泉事業会計補助金 46,734,711円 ・収益的収支分 24,778,077円 ・資本的収支分 21,956,634円 地方公営企業法に定める経営に関する基本原則を堅持しながら、地方公営企業の経営の健全化を促進し、その経営基盤を強化するため温泉事業会計に繰出しを行った。								
				○抱返り紅葉祭開催費補助金 優れた景観を県内外に広く宣伝し誘客を図りながら、広域観光の拠点となっている県立自然公園のイメージアップを図る。	○抱返り紅葉祭開催費補助金 1,338,000円 紅葉時期の魅力的な景観をPRし、誘客促進を図ることで、観光資源の認知度向上はもとより、地域経済の活性化及び観光振興が図られた。								
				○田沢湖・角館観光協会補助金 仙北市3地区の観光協会と観光連盟が合併し、田沢湖・角館観光協会として発足。地域一体となったPR活動及び日本人観光客並びにインバウンド受入態勢の強化を図る。	○田沢湖・角館観光協会補助金 25,000,000円 <table><tr><td>主な事業内容等</td><td>数量等</td></tr><tr><td>雑誌・新聞等広告</td><td>17 件</td></tr><tr><td>ポスター作成</td><td>5,500 枚</td></tr><tr><td>キャンペーン・キャラバン参加</td><td>11 回</td></tr></table> 冬の大型観光キャンペーンでは体験型コンテンツの磨き上げや市内の体験型コンテンツの掘り起こしを行った。また、八幡平DMOやあきた白神ツーリズムとの共同事業を進め、北東北広域FAMツアーを実施した。また、首都圏の駅での観光キャラバンのほか商談会などに参加し、誘客促進事業を展開した。	主な事業内容等	数量等	雑誌・新聞等広告	17 件	ポスター作成	5,500 枚	キャンペーン・キャラバン参加	11 回
				主な事業内容等	数量等								
雑誌・新聞等広告	17 件												
ポスター作成	5,500 枚												
キャンペーン・キャラバン参加	11 回												
○観光イベント実施に係る団体への補助 角館の桜まつりや田沢湖高原雪まつりなど、7事業の観光イベントを実施する実行委員会等の団体へ補助金を交付することにより、観光産業の振興と活性化を図り、地域観光の発展向上に寄与することを目的とする。	○観光イベント実施に係る団体への補助 34,250,000円 ・上桧木内の紙風船上げ事業費 3,255,000円 入込み客数 5,000人 ・角館の桜まつり事業費補助金 15,500,000円 入込み客数 864,000人 ・たざわ湖・龍神まつり開催費補助金 1,186,000円 入込み客数 0人（当日大雨警報発令に伴い中止） ・田沢湖高原雪まつり開催費補助金 859,000円 入込み客数 10,000人 ・角館祭りのやま行事実行委員会補助金 11,875,000円 入込み客数 180,000人 ・角館の火振りかまくら事業費補助金 675,000円 入込み客数 2,400人 ・刺巻ミズバショウ祭り補助金 900,000円 入込み客数 24,000人 SNS等を活用した宣伝効果もあり、入込客数が増加したことで、地域全体における経済の活性化に寄与した。												

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○樺細工振興費 樺細工の原皮安定確保を行う。	○樺細工振興費 1,805,809円 植栽保育を行うことで、国指定伝統的工芸品である樺細工の原皮安定確保に寄与した。
				○伝統工芸樺細工技能後継者育成事業費 伝統工芸の担い手確保のため育成資金を交付する。	○伝統工芸樺細工技能後継者育成事業費 150,000円 5年目を迎え1名の製作者の育成事業が終了。工芸士となるべく、樺細工の製造に励んでいる。令和6年に行われた第52回角館町樺細工伝統工芸展では角館町樺細工振興育成協会会長賞を受賞するなど前向きに製作活動に取り組んでいる。
				○伝統的工芸品振興費補助金 角館工芸協同組合の活動を支援する。	○伝統的工芸品振興費補助金 1,276,000円 角館工芸協同組合が実施する樺細工振興に資する事業に対して支援を行い、伝統工芸品の振興に寄与した。
				○新時代対応型伝統的工芸品等 支援補助金 秋田県における新時代対応型伝統的工芸品等支援事業費補助金を活用して実施する伝統工芸品等振興策に要する経費に対し、予算の範囲内において事業経費の一部を補助する。	○新時代対応型伝統的工芸品等支援補助金 700,000円 ・販路開拓・新商品開発支援事業 2事業者 法政大学との連携を行い商品化に向けて事業を展開した事業者や、自社内でのブランドレーベルの立ち上げを行い既存にない年齢層や客層にターゲットを定めた新商品開発を行う事業者等、どちらもデザイン性に富んだ新商品を開発した。
				○特別展開催費 企画展を4回開催する。	○特別展開催費 216,840円 ①打掛展 4月6日～6月16日 ②角館の伝統工芸品展 6月22日～9月29日 ③小野東三展 10月5日～1月26日 ④角館のひな人形展 2月1日～3月30日 郷土資料を展示する地域密着型の特別展を開催することにより、地域に伝わる文化資料を来館者に紹介することができ、集客にも繋がった。

8 款 土 木 費 2 項 道路橋りょう費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
1,409,711,000	1,161,706,516	212,225,000	35,779,484	○道路維持補修費 安全・安心な交通確保のため適切に道路の維持管理を行い、管理瑕疵を原因とした事故発生件数ゼロを目指す。	○道路維持補修費 38,483,269円 ・道路舗装補修、路肩修繕等 5,321,855円 ・グレーチング修繕 1,052,700円 ・倒木撤去作業委託 514,250円 ・ガードフェンス設置作業委託等 430,100円 ・排水ポンプ場保守点検業務委託等 1,087,702円 ・市道舗装補修工事（4地区×2期） 9,992,400円 9,992,400円 ・道路維持補修材 3,134,461円 ほかに 歩行者や交通量に配慮された安全安心な市道の維持管理を実施した。
				○冬期交通対策費 冬期の降雪時において、円滑な交通を維持するための除排雪作業を行う。	○冬期交通対策費 619,981,321円 ・道路除雪作業委託料等 428,443,842円 ・排雪作業 19,511,987円 ・凍結防止剤 9,200,400円 ・除雪機械修繕・リース料 117,099,757円 ほかに 除排雪作業により、冬期交通の確保に努めた。
				○交通安全施設整備費 道路区画線やガードレール、カーブミラー等の交通安全設備の設置工事を行う。	○交通安全施設整備費 5,533,000円 ・市道区画線設置工事 2,794,000円 ・道路反射鏡設置工事 1,749,000円 ・市道神代西明寺線外防護柵設置工事 990,000円 歩行者や交通量に配慮された安全安心な市道の維持管理を実施した。
				○安心・安全道路維持整備費 市民や観光客等の歩行者が安全・安心に散策等ができるよう整備を行う。	○安心・安全道路維持整備費 5,166,244円 ・道路舗装補修等 616,000円 ・市道岩瀬通線歩道整備工事 3,329,700円 ・道路維持補修材 683,430円 ほかに 歩行者や交通量に配慮された安全安心な市道の維持管理を実施した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
				○社会資本整備総合交付金事業費 市民生活に密接に関わる市道の、幹線道路を中心とした改良舗装等の整備と道路構造物等の長寿命化に向けた取り組みを実施する。	○社会資本整備総合交付金事業費 324,718,552円 ・ 橋梁補修工事積算資料作成業務委託（3橋） 9,834,000円 ・ 橋梁補修設計業務委託（3橋） 15,339,500円 ・ 市道神代中央線現場施工実施補助業務委託 2,750,000円 ・ 橋梁補修工事（3橋） 271,055,400円 ・ 市道神代中央線道路改良工事（合冊現年分） 5,314,900円 ・ 堂野口流雪溝排水路整備工事 18,920,000円 ・ 市道神代中央線道路改良工事に伴う電柱移設補償金 1,504,752円 【繰越明許】 94,487,000円 ・ 市道神代中央線道路改良工事 41,962,800円 ・ 市道神代中央線道路改良工事（合冊明許分） 52,524,200円 歩行者や交通量に配慮された安全安心な市道の整備を推進した。
				○臨時地方道整備事業費 市民生活に密接に関わる市道の、幹線道路を中心とした改良舗装等の整備と道路構造物等の長寿命化に向けた取り組みを実施する。	○臨時地方道整備事業費 16,531,900円 ・ 市道神代西明寺線道路改良工事（旧道撤去） 3,038,200円 ・ 市道西木線道路舗装工事 13,493,700円 歩行者や交通量に配慮された安全安心な市道の整備を推進した。
				○辺地対策事業費 市民生活に密接に関わる市道の、幹線道路を中心とした改良舗装等の整備と道路構造物等の長寿命化に向けた取り組みを実施する。	○辺地対策事業費 6,135,800円 ・ 市道側溝改良工事（2路線） 6,135,800円 歩行者や交通量に配慮された安全安心な市道の整備を推進した。
				○過疎対策事業費 市民生活に密接に関わる市道の、幹線道路を中心とした改良舗装等の整備と道路構造物等の長寿命化に向けた取り組みを実施する。	○過疎対策事業費 98,529,200円 ・ 市道向生保内線舗装補修設計業務委託 2,860,000円 ・ 市道桂渕1号線道路改良設計業務委託 7,766,000円 ・ 市道生保内学校通り線交差点改良設計業務委託 4,726,700円 ・ 旧大瀬蔵野橋橋梁撤去工事（第1期）積算資料作成業務委託 2,015,200円 ・ 道路舗装工事（4路線） 31,398,400円 ・ 旧大瀬蔵野橋撤去工事（第1期） 49,762,900円 歩行者や交通量に配慮された安全安心な市道の整備を推進した。
				○橋りょう維持補修費 市民生活に密接に関わる市道の、幹線道路を中心とした改良舗装等の整備と道路構造物等の長寿命化に向けた取り組みを実施する。	○橋りょう維持補修費 8,233,800円 ・ 橋梁補修設計業務委託（福田橋） 7,114,800円 ・ 橋梁補修工事（専太郎橋） 1,089,000円 ほか 歩行者や交通量に配慮された安全安心な市道の整備を推進した。

8 款 土 木 費 3 項 河 川 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
40,413,000	39,684,044	0	728,956	○河川維持補修費 近年多発している豪雨災害に対応するため、浸水・冠水被害等のあった箇所を中心に、浚渫や護岸修繕等を実施する。	○河川維持補修費 5,648,336円 ・護岸修繕、浚渫作業等 3,823,600円 ・水路清掃、河川支障木撤去委託等 1,802,680円 ほか 過去に浸水・冠水被害等のあった箇所を中心に、河川の維持管理に努めた。
				○河川改良事業費 近年多発している豪雨災害に対応するため、浸水・冠水被害等のあった箇所を中心に、護岸工事を実施する。	○河川改良事業費 15,998,400円 ・下高野川河川改修工事 15,998,400円 過去に浸水・冠水被害等のあった箇所を中心に、河川改良に努めた。
				○排水対策事業費 豪雨災害による越水被害を防止するため、排水路の整備を行う。	○排水対策事業費 9,845,000円 ・高屋地区排水路測量設計業務委託 9,845,000円 過去に浸水・冠水被害等のあった箇所の排水対策に努めた。

8 款 土 木 費 4 項 都 市 計 画 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
698,811,000	693,799,564	0	5,011,436	○田沢湖駅前広場維持管理費 田沢湖駅前広場の維持管理を行う。広場歩道の無散水消雪施設の消雪機能を改善するため、配管を定期的に洗浄する排水ドレンを設置する(複数年で実施予定)。	○田沢湖駅前広場維持管理費 9,044,606円 ・田沢湖駅前広場歩道無散水消雪施設放熱管洗浄作業委託 3,198,800円 ・田沢湖駅前広場歩道無散水消雪施設修繕工事 3,025,000円 ほか 施設の維持管理・長寿命化に必要な業務を推進した。
				○下水道事業会計補助金 下水道施設等の適切な維持管理により、環境衛生の保全に寄与する。	○下水道事業会計補助金 650,000,000円 ・収益的収支分 377,041,981円 ・資本的収支分 272,958,019円 令和6年度繰出基準及び繰入金に係る覚書に基づき繰出を行い、公衆衛生の向上及び公共用水域の水質保全の推進等に寄与した。
				○生保内公園施設維持管理費 市内各都市公園等の維持管理を行う。令和5年度に策定した仙北市公園長寿命化計画に基づき実施する。	○生保内公園施設維持管理費 3,799,281円 ・生保内公園施設維持管理業務委託 3,507,600円 ほか 施設の維持管理・長寿命化に必要な業務を推進した。
				○公園維持管理費 市内各都市公園等の維持管理を行う。令和5年度に策定した仙北市公園長寿命化計画に基づき実施する。	○公園維持管理費 12,917,509円 ・施設維持管理業務委託料ほか 9,298,739円 ほか 施設の維持管理・長寿命化に必要な業務を推進した。

8 款 土 木 費 5 項 住 宅 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
59,396,000	59,221,488	0	174,512	○市営住宅管理運営費 老朽化が進む市営住宅の屋根や外壁等の修繕工事を行い、長寿命化を図る。	○市営住宅管理運営費 51,651,432円 ・ニュータウン塚野腰8・9号棟外壁・屋根塗装工事実施設計・設計監理及び工事監理業務 3,157,000円 ・ニュータウン塚野腰8・9号棟外壁・屋根塗装工事 16,160,100円 ・市営住宅除却工事（田中住宅） 877,800円 ・修繕費ほか 13,918,486円 ほか 市営住宅の維持管理・長寿命化に必要な業務を推進した。

9 款 消 防 費 1 項 消 防 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
918,525,000	871,116,516	32,040,000	15,368,484	○大曲仙北市町村圏組合消防費負担金 大曲仙北市町村圏組合消防本部の運用に係る費用を負担し、地域の消防力維持に努める。	【繰越明許】 11,740,000円 ・大曲仙北市町村圏組合消防費負担金 11,740,000円 消防車両購入分の負担金について、メーカー側で部品供給遅れのため、令和5年度内納車が困難であったが、令和6年度中に納車され負担金の支払いを行った。
				○団員報酬・出勤費等 消防団員の能力向上を期して各種研修・訓練を実施しつつ、安全面の強化のため装備品を充実させる。	○団員報酬・出勤費 36,821,752円 ・消防団員年間報酬（432名分） 16,241,124円 ・消防団員出勤手当（432名分） 16,323,126円 ・消防団員支給用品等 3,884,239円 所属する消防団員の日頃の活動に対して年間報酬を支給。また出勤した広報、警戒活動や火事場での消火活動に対して出勤費を支給した。 新入団員の装備品や団員の安全面強化のため、鉄板入り安全長靴を支給した。
				○自主防災組織育成事業費 私設消防団を含む自主防災組織の活動を支援し、組織率の向上を目指す。また、県と共同で防災士の育成に取組、地域コミュニティの防災意識の醸成を図る。	○自主防災組織育成事業費 740,672円 ・自主防災組織育成事業費助成金（18組織） 682,400円 ・秋田県防災士養成研修受講料（2名分） 24,000円 地域の自主的な防災活動を推進し、災害による被害を最小限に抑えるため、自主防災組織の育成及び組織活動を支援した。また、防災士養成研修の受講料について支援し、新たに消防団員2名が防災士の資格を取得した。今後、各地域で開催される防災教室に講師として派遣を行う。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
				○消防団員家族慰労金支給事業費 団員として20年以上勤務して退職した者の家族に慰労金を支給する。	○消防団員家族慰労金支給事業費 217,200円 ・退職消防団員家族慰労金（5名分） 217,200円 長年消防団活動を支えてくれた団員の家族に対して、当該団員に支給された退職報奨金を基礎として算出した額を感謝の気持ちとして慰労金として支給した。
				○災害対策総務費 大規模災害に備えて、各避難所で使用可能な小型発電機や非常食等の備蓄品の整備を行う。また、国・県の動向や近年の災害による教訓を踏まえ、地域防災計画の見直しを行う。	○災害対策総務費 8,051,570円 ・会計年度任用職員報酬等（1人） 3,405,289円 ・災害対策備蓄品等消耗品 811,944円 ・衛生携帯電話、災害対策施設等電話料金 1,233,119円 ・避難所用小型発電機（10台） 1,342,000円 非常食や水などの災害時備蓄品を購入。また、主食以外におかずや汁物等の副食も備蓄するよう県計画の見直しが行われることから、新たに備蓄品目を増やした。 停電時に備えるため、避難所用の小型発電機を10台購入。 地域防災計画の見直しについては、関係機関での確認作業に想定以上の時間を有し、次年度に繰り越して見直しを行う。 【繰越明許】 1,085,700円 ・災害対策本部員用防災服購入（30着） 1,085,700円 災害対策本部が設置された際に、招集される本部員が着用する防災服を購入し、災害発生時に備える。
				○防災行政無線維持管理費 従来の防災無線設備の維持管理を行いながら、マルチデバイスに対応した防災情報配信の新システム導入・構築を行う。	○防災行政無線維持管理費 89,487,669円 ・防災行政無線施設維持管理業務委託（旧システム） 6,600,000円 ・防災行政情報伝達新システム整備業務委託（新システム） 13,941,400円 ・防災行政情報伝達新システム戸別受信機（1,000台） 65,450,000円 ・防災行政無線施設電気料金（旧システム） 2,201,211円 防災行政無線を適切に使用するため維持管理をおこなった。また、旧無線システムに変わる公衆網（携帯電話電波）を利用した情報伝達システム「@ i n f o c a n a l」を整備し、仙北市公式LINE、安全安心メールで災害情報等を市民に配信する体制を整えた。スマートフォン、携帯電話を持たない世帯向けに合成音声で情報を伝える専用の戸別受信機を準備し、対象希望世帯等に貸出を行った。
				○危険空き家対策費 空き家等の所有者に適正な管理を促すとともに、空き家等を解体・処分しようとする所有者で財政援助の必要な方に対し、解体処分費の一部を補助する。また、災害時における空き家の飛散物や軒先の雪など、市民に対する危険を取り除くための措置を実施する。	○危険空き家対策費 7,064,647円 ・会計年度任用職員報酬等（1人） 4,045,039円 ・消耗品、コピー代、郵便料等 198,308円 ・危険空き家安全対策応急措置業務 2件 421,300円 ・空き家等対策支援事業費補助金 交付実績 12件 2,400,000円 空き家等の適正管理を喚起し、解体処分の相談・支援を行うことで、市民と地域の安全・安心の確保と生活環境の保全に寄与した。

10 款 教 育 費 1 項 教 育 総 務 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事 業 の 概 要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
290,842,000	281,568,848	0	9,273,152	○学校適正配置関係事業費 小・中学校の教育環境を将来に持続的でより充実したものとするため、学校適正配置検討委員会及び市民意見交換会を開催し、令和8年度までに学校適正配置計画の策定を目指す。	○学校適正配置関係事業費 292,199円 ・学校適正配置検討委員報償、費用弁償 205,562円 ・事務的経費 86,637円 ・学校適正配置検討委員会 開催日 8月6日、11月18日、1月20日 ・市民意見交換会 開催日 7月8日、9日、11日、16日、17日、22日 会場 各小学校区内の公共施設（角館交流センターほか） 参加者数 延べ55人 ・その他の意見交換 4月 市内全園・小・中で保護者と意見交換 8～11月 生保内学区園・小・中保護者代表と合同意見交換 10月 市内スポーツ少年団代表と合同意見交換 11月 市内全園・小・中保護者代表と合同意見交換 12月 市内全園・小・中で保護者と意見交換 2月 生保内学区園・小・中で保護者と意見交換 実現可能でより望まれる小・中学校の再編案を数案に絞り込み「学校適正配置計画（素案）」としてまとめた。
				○G I G Aスクール構想推進事業費 G I G Aスクール構想に伴う児童生徒一人一台端末や専用のネットワークを整備し、仙北市でのG I G Aスクール構想を推進する。	○G I G Aスクール構想推進事業費 11,018,030円 ・情報学習支援員報酬等 2,676,780円 ・通信運搬費 984,280円 ・委託料 4,356,000円 ・使用料及び賃借料 2,416,040円 ・備品購入費 487,300円 ・補償補充及び賠償金 97,630円 端末の保守委託契約や情報学習支援員の任用等によるI C T教育のサポート体制を維持することができた。
				○スクールバス購入事業費 角館小学校(白岩便)スクールバスを更新する。	○スクールバス購入事業費 11,691,380円 ・スクールバス購入 1台 11,571,780円 ・更新手続き手数料等 1台 119,600円 バス更新により安心安全な通学確保に寄与した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
				○仙北市ヤマメ・サクラマスプロジェクト事業費 市内企業の職場体験・企業説明会、キャリアマイスターによる講演等を小・中学生を対象に実施することで、ふるさとを愛し、豊かな心・確かな学力・健やかな体を持ち、未来の地域や社会を支える意欲と高い志にあふれ、「仙北市に残って我々と一緒に市の未来をひらいてくれる子ども（ヤマメ）」、「外に出て帰ってきてくれる子ども（サクラマス）」、もしくは、「仙北市を離れても心のどこかでふるさとの未来を考えてくれる子ども」を育む。	○仙北市ヤマメ・サクラマスプロジェクト事業費 4,719,886円 ・小学生による職場体験学習（7月31日～8月1日開催） 受け入れ企業3社 参加児童（小学校6年生対象） 21人 企業紹介ポスターを作成し、市内3か所でポスター展示会開催 ・中学生向け企業説明会（11月14日開催） 参加企業16社 参加生徒数（中学2年生対象）134人 ・令和6年度は「女性活躍」をテーマに 「せんぼく はたらく BOOK」を発行（発行部数 500部） 仙北市の子どもたちがふるさとへの愛着を深め、仙北市で働き生きていくイメージを養う一助となった。

10 款 教 育 費 2 項 小 学 校 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
323,751,000	307,155,714	0	16,595,286	○維持修繕費 各学校からの要望及び緊急に対応が必要な箇所について、現地調査を実施し、優先順位を付け、緊急性の高い修繕等を実施する。	○維持修繕費 4,710,881円 ①角館小学校スクールバス停車箇所舗装修繕 275,000円 ②角館地区スクールバス置場給水設備修繕 289,828円 ③角館小学校体育館ステージ照明修繕 25,080円 ④神代小学校体育館屋外時計修繕 23,650円 ⑤角館小学校プール用カートリッジ交換 299,970円 ⑥桧木内小学校給水ユニット修理 105,930円 ⑦西明寺小学校大プールタラップ修繕 77,000円 ⑧生保内小学校滑り台修繕 298,196円 ⑨西明寺小学校滑り台修繕 294,184円 ⑩その他市立小学校各種修繕 31件 2,660,280円 ⑪原材料費 グラウンド用土・舗装補修材料等 361,763円 各学校と協議しながら学校施設の維持に必要な修繕を実施した。
				○諸工事費 各学校からの要望をとりまとめ、現地調査を実施し、優先順位を付け、緊急性の高い工事等を実施する。	○諸工事費 25,279,100円 ①角館小学校職員室等エアコン更新工事 19,800,000円 ②生保内小学校図書室エアコン設置工事 1,276,000円 ③生保内小学校校長室エアコン設置工事 1,276,000円 ④神代小学校高圧気中開閉器更新工事 1,100,000円 ⑤その他小学校各種工事 2件 1,827,100円 各学校と協議しながら学校施設の維持に必要で緊急性の高い工事を実施した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
				○学校施設環境改善交付金事業費 市内小学校の和式便器を洋式便器に改修する。洋式化率60%以上を目指す。	○学校施設環境改善交付金事業費 14,916,000円 ・委託料(実施設計・工事監理) 2,409,000円 ・西明寺小学校トイレ洋式化改修工事 5,302,000円 ・桧木内小学校トイレ洋式化改修工事 7,205,000円 西明寺小学校 8台 桧木内小学校 9台 洋式便器改修により児童の学校衛生環境改善に寄与した。
				○角館小学校・白岩小学校統合関係事業費 令和7年3月をもって白岩小学校が閉校することに伴い、閉校関連行事を行う。	○角館小学校・白岩小学校統合関係事業費 1,409,076円 ・事務的経費（閉校式開催等） 209,076円 ・白岩小学校閉校記念事業費補助金 1,200,000円 ・白岩小学校閉校式 開催日 令和6年11月23日（土） 会場 白岩小学校体育館 出席者数 約280人（児童、教職員、地域住民等） ・白岩小学校閉校記念事業（補助事業） 記念イベント（運動会、学習発表会、思い出を語る会、横断幕設置、記念誌作成、記念碑建立等） 白岩小学校の閉校式は、同窓生、歴任教職員及び地域住民等が一堂に会し、同校に感謝するとともに思い出を心に残す機会とすることができた。
				○キャリア教育・ふるさと学習支援事業費 これまでの総合的な学習を拡充し、ふるさと教育・キャリア教育について、各学校が特色ある取り組みができるよう支援する。	○キャリア教育・ふるさと学習支援事業費 1,097,105円 ・事業内容 ①角館小学校 151,150円 陶芸体験、室町体験学習ほか ②白岩小学校 123,247円 白岩焼陶芸体験、「みんなの白岩農園」ほか ③生保内小学校 254,593円 農業体験、スキー学習ほか ④神代小学校 230,000円 農業体験、花いっぱい笑顔いっぱいプロジェクトほか ⑤西明寺小学校 226,160円 鎌足和紙すき体験、農業体験ほか ⑥桧木内小学校 111,955円 農業体験、紙風船制作・打ち上げほか 地域を学ぶことにより、ふるさとに誇りを持ち、ふるさとを愛する心を醸成した。

10 款 教 育 費 3 項 中 学 校 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事 業 の 概 要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
218,353,000	210,078,241	0	8,274,759	○維持修繕費 各学校からの要望及び緊急に対応が必要な箇所について、現地調査を実施し、優先順位を付け、緊急性の高い修繕等を実施する。	○維持修繕費 2,768,920円 ①神代中学校テニスコートネット締具修繕 220,000円 ②西明寺中学校事務室エアコン修繕 57,640円 ③角館中学校野球場ダッグアウト支柱修繕 79,200円 ④角館中学校野球場ダッグアウト外壁修繕 99,000円 ⑤角館中学校2階ベランダ防水シート修繕 122,100円 ⑥生保内中学校体育館避難誘導灯取替修繕 58,960円 ⑦神代中学校浄化槽起動フロート交換 38,390円 ⑧神代中学校職員玄関ドアフロアヒンジ交換 187,000円 ⑨西明寺中学校野球場散水ホース交換 33,000円 ⑩その他市立中学校各種修繕 20件 1,562,330円 ⑪原材料費 グラウンド用土・舗装補修材料等 311,300円 各学校と協議しながら学校施設の維持に必要な修繕を実施した。
				○諸工事費 各学校からの要望をとりまとめ、現地調査を実施し、優先順位を付け、緊急性の高い工事等を実施する。	○諸工事費 14,047,000円 ①角館中学校地下タンク改修工事 10,615,000円 ②角館中学校男子テニスコート補修工事 1,199,000円 ③生保内中学校高圧気中開閉器更新工事 990,000円 ④その他中学校各種工事 2件 1,243,000円 各学校と協議しながら工事を実施し、学校の維持管理を適切に行った。
				○学校施設環境改善交付金事業費 市内中学校の和式便器を洋式便器に改修する。洋式化率60%以上を目指す。	○学校施設環境改善交付金事業費 7,491,000円 ・委託料(実施設計・工事監理) 1,364,000円 ・生保内中学校トイレ洋式化改修工事 4,356,000円 ・桧木内中学校トイレ洋式化改修工事 1,771,000円 生保内中学校 6台、桧木内中学校 2台 洋式便器改修により児童の学校衛生環境改善に寄与した。
				○キャリア教育・ふるさと学習支援事業費 これまでの総合的な学習を拡充し、ふるさと教育・キャリア教育について、各学校が特色ある取組ができるよう支援する。	○キャリア教育・ふるさと学習支援事業費 890,029円 ・事業内容 ①角館中学校 159,843円 ふるさとスケッチ会ほか ②生保内中学校 137,962円 湖畔ウォーキング・なべっこ、聞き書き学習ほか ③神代中学校 201,636円 スキー教室、農業体験ほか ④西明寺中学校 191,200円 鎌足和紙すき体験、スキー教室ほか ⑤桧木内中学校 199,388円 学校花壇・農園、紙風船制作打ち上げほか 地域を学ぶことにより、ふるさとに誇りを持ち、ふるさとを愛する心を醸成した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
				○中学校部活動指導員配置事業費 市内中学校の部活動の充実と教職員の負担軽減を図るため、部活動指導員を配置する。	○中学校部活動指導員配置事業費 2,088,605円 ・事業内容 部活動支援員6人を配置 配置校 中学校5校 部活動指導員を配置することにより、部活動の充実と教職員の負担を軽減した。

10 款 教 育 費 5 項 社 会 教 育 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
488,706,000	479,217,384	0	9,488,616	○二十歳の集い費 二十歳を祝い旧友や恩師との再会の場を設け、ふるさとを見つめ直す機会となるよう開催する。	○二十歳の集い費 86,984円 対象者 平成15年4月2日～平成16年4月1日生 対象人数 224人 参加人数 173人 参加率77.2% 対象者自らが運営を協議し、式典では旧友や恩師との再会を喜んでいた。
				○学校・家庭・地域連携総合推進事業費 地域住民の特技等を生かして地域の教育力を学校教育に活用することで子どもたちの学びを豊かにするとともに地域の活性化を図る「地域協働本部」の推進を図る。 子どもたちの育成目標やビジョンを地域住民と共有し、一体となって「地域とともにある学校づくり」を実現させる「コミュニティ・スクール」の設置を進める。	○学校・家庭・地域連携総合推進事業費 2,814,152円 ・地域学校協働活動推進員報償費 2,499,000円 ・旅費 267,103円 ・需用費 14,655円 ・役務費 33,394円 ・協働活動に参加した地域ボランティアの人数 令和5年度 249人 → 令和6年度 296人 ・「熟議」参加人数 令和5年度 328人 → 令和6年度 388人 地域学校協働活動推進員の活動が活発になってきている。また、地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的な推進が図られた。
				○中央公民館活動推進事業費 ・公民館講座 生涯学習の機会として、健康づくり・趣味・教養等の分野において、市民ニーズに即した学習意欲が高まる講座を開設する。	○中央公民館活動推進事業費 2,145,417円 講師謝礼（講座・イベント等） 980,000円 ・公民館講座 中央公民館 文芸教室、エコクラフト教室、山野草の寄せ植え教室、ふるさと講座、鎌足和紙の制作体験、簡単マナビート、パッチワーク教室、写真教室、親子ふれあい教室他 計22講座 延べ863人 田沢湖公民館 ヨガ教室、お香の教室、ハンドメイドアクセサリ教室、テーブルフラワー教室、和紙deおしゃれバッグ教室、寒天料理教室、んみゃもの料理教室、出前講座他 計20講座 延べ447人 角館公民館 料理(菓子)教室、プラかご作り教室、こけ玉作り教室、マーブルアート教室、ソーパークーピング教室、羊毛フェルト教室他 計10講座 延べ129人

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要													
				計画	実績及び効果												
				・仙北市公民大学 市民が学びたい学科を通じて知識と連帯感を高め、地域社会の発展に寄与する。	・仙北市公民大学 <table><tr><th>学科</th><th>開講数</th><th>延べ人数</th></tr><tr><td>郷土研究学科</td><td>11 回</td><td>257 人</td></tr><tr><td>書道学科</td><td>22 回</td><td>269 人</td></tr><tr><td>陶芸学科</td><td>36 回</td><td>399 人</td></tr></table>	学科	開講数	延べ人数	郷土研究学科	11 回	257 人	書道学科	22 回	269 人	陶芸学科	36 回	399 人
				学科	開講数	延べ人数											
				郷土研究学科	11 回	257 人											
				書道学科	22 回	269 人											
陶芸学科	36 回	399 人															
・地域総合学習 地域で活動する個人や団体、サークル等の学習成果を発表する機会を提供する。	・第10回田沢湖公民館まつり 計1回 参加者166人																
・新年書きぞめ展 小中学生等からの応募作品を展示する。	・令和6年度生涯学習のつどい 計1回 参加者50人																
・自主学習活動支援 身近な趣味や教養等について、自主的に学習活動を希望するグループに対して支援する。	・令和7年新年書きぞめ展 計1回 作品数42点																
				・自主学習活動支援 リクエスト講座 1組 計1回 延べ12人	市民の学習ニーズに即した多様な講座を開設したほか、公民大学の開講や出前講座、自主学習グループの活動支援を行い、良質な学びの場を提供できた。また、日頃の創作活動や学習成果を発表する場として、田沢湖公民館まつりや生涯学習のつどいを開催し、多くの来場者に生涯学習活動の取組を紹介することができた。												
			○図書資料購入費 公共図書館として、利用者や地域ニーズに応えられる蔵書構成を図る。	○図書資料購入費 3,020,076円 ・図書購入費 2,400,000円 ・雑誌等購入費（雑誌40、新聞5紙） 620,076円 来館者数 延べ 19,047人 貸出利用者数 延べ 4,585人 貸出冊数（図書、雑誌） 延べ 21,023冊 来館者から図書館に直接寄せられる要望、幼保施設等団体貸出先で聞き出した潜在的なニーズ、それらに合った選書や提案を行ったことによって、人口が減少する中でも、貸出冊数や貸出利用者数が前年度より増加した。													
			○図書館サービス拡充事業費 地域の情報拠点として、充実した図書館サービスを提供する。	○図書館サービス拡充事業費 20,609,883円 ・会計年度任用職員報酬等（6人） 20,455,905円 ・講師謝礼（講座、イベント等） 105,000円 ・イベント消耗品等 48,978円 図書館を会場に各種講座・コンサート・展示等を開催し、図書館の場としての魅力を発信した。令和6年度は従来の情報提供方法に加えて、田沢湖図書館公式Instagramでの情報発信を開始し、よりきめ細やかな情報提供を行えるようになり、市民の来館意欲が高まった。													

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○文化財管理費 伝統的建造物群保存地区内の消防施設及び防災施設の保守点検をはじめ、武家屋敷周辺の歴史的町並み保存及びその他文化財の管理全般を適切に行う。	○文化財管理費 5,798,613円 ・国、県、市の指定文化財等文化財全般に係る保存管理 ・特別天然記念物カモシカ保護及び処理 9頭 ・消防施設及び防災施設の保守点検 計6回（各3回ずつ） 国、県及び市の指定文化財及び特別天然記念物の適切な保存、保護及び伝統的建造物群保存地区内の防災対策に寄与した。
				○武家屋敷公開管理事業費 伝統的建造物群保存地区内外の市管理史跡の公開及び管理を行う。（岩橋家、小田野家、旧松本家）	○武家屋敷公開管理事業費 14,115,282円 ・公開期間 4月3日～11月30日 ・来場者数 136,760人（前年比+21,915人） コロナの5類感染症移行から2年目。1年を通じて客足の途切れることのない保存・公開・維持管理を実施した。前年度より見学者も増え、来訪者への案内、小中高校生のフィールドワークへの対応などにより、古いものを遺し次世代に継承していく意義の重要性を感じていただいた。
				○旧石黒（恵）家公開事業費 伝統的建造物の公開と利活用を図る。	○旧石黒（恵）家公開事業費 7,944,780円 ・公開期間 4月1日～3月31日 ・入場者数 7,229人（前年比+573人） ・利用実績 1,388人（前年比+224人） 昭和初期の伝統的建造物を公開活用することにより、江戸から昭和までの時代の変遷や、角館の建築の歴史を学ぶ実践の場として好評を得た。
				○河原田家公開管理事業費 武家屋敷河原田家の有料公開を行う。主屋では対面による案内を実施し、土蔵には河原田家に縁のある品々を展示し、伝統的建造物の公開活用を図る。	○河原田家公開管理事業費 21,881,319円 ・公開期間 4月1日～3月31日 ・来場者数 14,001人（前年比+1,232人） 公開方法を工夫しながら武家屋敷の保存管理を実施し、対面による案内が好評で、訪れた観光客に武家屋敷についての理解を深めていただいた。前年度より来場者が増加しており、伝統的建造物群保存地区内の観光スポットとして、観光産業活性化の一助となった。
				○桜保護管理費 文化財指定の桜の日常管理を実施し、訪れる観光客に良好な花を見ていただく。	○桜保護管理費 5,122,060円 ・角館中学校2年生と大曲支援学校せんぼく校による桜の施肥活動 文化財保護法による国名勝指定、国天然記念物指定の桜に対し、管理を行った。枯枝の除去、ソメイヨシノのテングス病枝の除去、その他の整枝、施肥、病害虫駆除等を実施。樺細工伝承館前のシダレザクラは4月12日、桧木内川堤のソメイヨシノは4月14日に開花した。平年値よりも開花はやや早かったものの、野鳥のウソによる花芽の被害は全くなく、本市観光産業の活性化に寄与した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○重要伝統的建造物群保存地区整備事業費 国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている仙北市角館の江戸期の町並みの維持保存を図る。	○重要伝統的建造物群保存地区整備事業費 22,886,192円 ・陶家板塀修景（解体・工事・設計・監理） 5,768,400円 ・旧角小跡板塀修景（工事・設計・監理） 10,166,200円 ・石黒家主屋-土蔵修理事業費補助金 6,381,680円 上記をはじめ地区内の伝統的建造物等の修理修景事業を実施し、地区住民の負担軽減を図るとともに、仙北市・東北・日本の歴史的町並み保存、文化の向上・発展に寄与した。
				○松本家主屋改修事業費 県指定有形文化財に指定されている「旧松本家住宅主屋」について、経年劣化により損傷した柴垣を修理する。	○松本家主屋改修事業費 2,838,000円 ・旧松本家柴垣設置業務委託費 2,838,000円 敷地内の北側と西側の柴垣が経年劣化により損傷しているため、柴垣の原材料となるクロモジを採取した上で、これを設置し景観向上に寄与した。
				○近代和風建築等総合調査事業費 文化財としての高付加価値の可能性を探るため、角館の武家屋敷6棟（石黒家、旧青柳家、岩橋家、河原田家、小田野家、旧松本家）における明治期以降の建造物調査を行う。	○近代和風建築等総合調査事業費 3,244,395円 ・仙北市角館武家住宅総合調査業務委託 3,101,855円 近世の武家住宅、及び武家住宅から発展した近代和風建築住宅について、建築的価値を明らかにする総合的な調査を実施し、結果をもとに調査報告書を作成した。
				○文化財保存活用地域計画作成事業費 「文化財保存活用地域計画」を令和5年度から3カ年で策定する。学識経験者等による文化財保存活用地域計画協議会を設立し検討を進めつつ、基礎調査として市民へのアンケート調査等を実施する。	○文化財保存活用地域計画作成事業費 3,934,112円 ・文化財保存活用地域計画協議会の開催 3回 委員謝礼 110,000円 委員費用弁償 207,112円 ・地域計画基礎調査業務委託 3,454,000円 中学生アンケート調査 対象 314人 回答 292人 市内2～3年生、回収率93.0% ・市民ワークショップ 角館地区 参加者 15人 西木地区 参加者 10人 田沢湖地区 参加者 8人 文化財保存活用地域計画協議会において、前年度に実施した市民・所有者・高校生それぞれを対象にしたアンケート調査の結果も合わせて明らかとなった文化財に関する意識、個別の文化財への認知度、今後の保存や活用に対する考え方等から、本市の文化財の保存・活用に関する課題を抽出し、次年度以降の計画策定に向けた実施計画案を作成した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○学習資料整備費 利用者のニーズに応じた図書資料・視聴覚資料を購入装備のうえ貸出を行う。貴重な資料の収集保存に努めながら、最新の情報、郷土資料なども充実させ、適切な蔵書構成を目指す。	○学習資料整備費 4,788,340円 ・図書資料等購入費 1,598冊 3,000,000円 内訳（一般図書 1,104冊、児童図書 494冊、視聴覚資料 0点） ・利用実績 来館利用者数 34,365人 貸出利用者数 9,323人 貸出冊数 36,555冊 学習資料の整備により、読書の促進に資することができた。
				○学習資料館利用促進費 市民が安心して利用できる学習の場、情報収集の場、憩いの場を提供する。 新規利用者獲得と、利用者の継続的な来館につながるよう、利用者のニーズに合ったサービスを提供する。	○学習資料館利用促進費 10,720,931円 ・会計年度任用職員報酬等（3人分） 10,552,991円 （報酬・手当・共済費・通勤手当） ・報償費 ちず・アート作品借用謝礼 5,000円 ・需用費 利用促進に係る消耗品費 111,942円 ・役務費 資料相互貸借に係る通信運搬費 50,998円 季節やニュースに合わせたコーナー展示、文学館企画展に合わせたものや「花王講座」や「ちず・アート」関連の資料を学習資料館内に展示した。小学生のまち探検・中高生のインターンシップ・ボランティアの受け入れを積極的に行った。また、高校生による「真夏の怪談」「春のおはなし会」、子ども向けの「しおり・缶バッジをつくろう」、親子向けの「おはなし会うさぎのみみ」への協力、ミドル世代に向けた花王講座「フレイル」や「災害時の清潔情報」を開催し、利用の促進を行った。
				○学校図書館支援事業費 学校図書館支援員が市内全ての小・中学校を定期的に訪問し、学校図書館の選書、発注、蔵書管理、データ管理、環境整備等の業務全般に対し図書担当教諭を支援する。 子どもの読書普及と支援のため、学校の規模に応じて図書購入費を配分することにより、学校図書館の蔵書の充実を図るとともに児童・生徒の読書環境の向上に寄与する。	○学校図書館支援事業費 12,076,224円 ・支援員報酬等（2人分） 7,741,405円 ・支援員学校訪問頻度 市内全小・中学校に月2回程度訪問 ・学校図書館システム等保守委託料 502,920円 ・学校用図書館管理データ作成業務 363,000円 （T O O L i - S）使用料 ・学校図書館業務システムリース料 2,059,200円 ○学校図書館支援事業 959,241円 ・市内小・中学校図書購入費 角館小 89冊 角館中 128冊 白岩小 26冊 生保内中 37冊 生保内小 34冊 神代中 41冊 神代小 40冊 西明寺中 46冊 西明寺小 36冊 桧木内中 40冊 桧木内小 29冊 計 546冊 学校図書館支援員の訪問支援等により、学校図書館の環境整備と利用促進を図り、児童・生徒の図書室利用につながっている。また、学校図書の購入・配備により、小・中学校の読書環境の向上に寄与した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
				○子ども読書活動推進事業費 仙北市内全小中学校の児童生徒並びに角館高校の生徒を対象に「仙北市読書感想文コンクール」を実施する。	○子ども読書活動推進事業費 54,336円 仙北市読書感想文コンクール募集期間 12月1日から1月25日まで ・応募総数 48点（小学校 27点 中学校 9点 高校 12点） ・入賞作品数 12点（小学校 6点 中学校 3点 高校 3点） 決算内訳 報償費 審査員謝礼 5,000円 旅費 審査員旅費 1,628円 需用費 コンクールに係る消耗品費 47,708円 読書感想文コンクールを開催することで、仙北市内の小・中学校児童生徒と仙北市内の高校生に読書の楽しさを伝え、考える力や表現力を伸ばすことに寄与した。
				○イベント交流館展示費 常設展示により、新潮社創業者の佐藤義亮氏や新潮社、秋田県や仙北市等地元ゆかりの先人を紹介する。郷土の先人・文人たちの功績を広く紹介し、市民や入館者に知ってもらうため企画展示を開催する。	○イベント交流館展示費 858,289円 ①「高井有一 夢の碑の周辺展」 期間 4月2日～6月30日 入館者数 1,041人 ②「児童ノンフィクション作家 池田まき子のあしあと展」 期間 7月13日～10月20日 入館者数 968人 ③「没後1年 追悼 西木正明展」 期間 11月2日～令和7年3月19日 入館者数 948人 ・報償費 展示品借用謝礼・展示指導謝礼他 92,500円 ・旅費 講師旅費・受贈品選別作業時旅費 80,660円 ・需用費 企画展消耗品・ポスター印刷代 487,710円 ・役務費 ポスター送料・展示品着払送料 57,969円 展示品動産保険・受託物賠償保険 128,450円 ・使用料及び賃借料 文藝春秋写真使用料 11,000円 計 858,289円 地元ゆかりの作家である高井有一氏と西木正明氏の関連展示を行った。また、秋田県出身の児童書ノンフィクション作家である池田まき子氏の企画展を開催して児童・生徒の集客を図ったほか、女性のライフスタイルについての展示も行った。また、企画展に併せて学習資料館で関連図書の展示コーナーを設けて貸出を行った。
				○常設・企画展示費 常設展は4月から6月は「平福百穂 画と短歌」を、7月以降は「平福徳庵・百穂父子展」を企画展ごとに作品を替えて実施。令和6年度は企画展を4回実施した。	○常設・企画展示費 1,441,261円 ①「平福百穂 画と短歌」 4月12日～6月23日 2,019人 ②「馬場彬作品展」 7月2日～9月23日 1,041人 ③「佐藤悟日本画展」 10月1日～11月12日 1,981人 ④「河正雄コレクション展」2月21日～3月30日 381人 ・令和6年度 入館者数 8,428人 開館日数 275日 「馬場彬作品展」は馬場氏の関係者から令和5年に寄贈を受けた中から選出して展示したもので初披露となった。「佐藤悟日本画展」は県内在住の日本画家佐藤悟先生の作品を展示したもので多くの方に観ていただいた。「河正雄コレクション展」は今回が2回目で、以前に河氏からいただいた作品を展示した。前年度に比べ、入館者数が253人増加した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
				○児童生徒県南美術展開催費 県南4市（仙北市・大仙市・横手市・湯沢市）2郡（仙北郡・雄勝郡）の小中学生の美術作品を募り、第47回児童生徒県南美術展を実施した。	○児童生徒県南美術展開催費 302,188円 ・開催期間 11月28日～1月24日 ・入館者数 2,595人 ・参加校数 75校（小学校 53校 中学校 22校） ・出品数 932点（小学校 661点 中学校 271点） 参加校は前年度より1校減少し、出品数30点の減、入館者数159人の減となった。出品作が年々レベルアップしていることから、この美術展が小中学校の美術教育に貢献している。広報活動は新聞や仙北市ホームページ、SNS等で行い集客に努めた。
				○管理運営費 勤労青少年ホームと外ノ山テニスコートの管理運営を行う。	○管理運営費（勤労青少年ホーム） 6,446,522円 ・需用費 1,146,643円 ・役務費 142,694円 ・委託料（受付業務委託、日常清掃業務ほか） 4,794,185円 ・工事請負費（外ノ山テニスコート外灯スイッチ改修工事） 363,000円 （令和6年度利用実績） ・勤労青少年ホーム利用者数：令和5年度6,099人→令和6年度9,108人 ・テニスコート利用者数：令和5年度240人→令和6年度880人 地元企業の寄附によりテニスコートが2面利用できるようになった。それにあわせて照明を1面ずつ点灯できるように照明スイッチを改修し、利用者も増加した。
				○自主事業運営費 市民が優れた芸術・文化に触れる機会を設け、芸術的感性の醸成を図る。	○自主事業運営費 4,321,763円 ・あきた朗読おとぎ芝居『辰子姫 弐』 令和6年8月11日（日）午後2時開演 出演 OKAMI 企画×生駒里奈氏 入場者数 300人 ・仙北市音楽交流会 音の泉 令和6年11月10日（日）午後1時30分開演 出演 市内小中学校吹奏楽部他、一般申し込み団体 入場者数 300人 ・ロビーコンサート 1 令和6年6月23日（日） 出演 松山隆宏氏 入場者数 50人 2 令和7年3月20日（木・祝） 出演 青谷明日香氏 入場者数 80人 ・市民会館の活用を考えてみたらこんなことをやってみようと思った件 令和6年8月3日（土） 内容：フリーマーケット、eスポーツ体験・大会 ほか 入場者数 計200人 ロビーコンサートのほか、昨年に引き続き「仙北市音楽交流会 音の泉」を行うことにより市民の芸術に触れる機会を作ることができた。また、朗読おとぎ芝居では市民の新たな活躍の場の創出に貢献できた。

10 款 教 育 費 6 項 保 健 体 育 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事 業 の 概 要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
338,399,000	328,347,433	0	10,051,567	○スポーツ推進委員費 市民スポーツ振興のため、スポーツの実技指導・助言や各種スポーツイベントの運営・補助等を行うスポーツ推進委員の活動を推進する。	○スポーツ推進費 960,776円 ・令和6年度スポーツ推進委員数 18人 ・スポーツ推進委員延べ派遣人数 157人 ・スポーツ指導受講者数 342人 各種教室やイベント等へ派遣し、運動指導やニュースポーツの体験を実施し、住民の運動習慣の定着や世代間交流の促進、スポーツの関心の向上など、地域における自主的な健康づくりやスポーツ活動の活性化を図った。
				○田沢湖マラソン大会負担金 市民の健康増進、誘客による地域活性化を図るため開催する。	○田沢湖マラソン大会負担金 10,000,000円 ・第37回田沢湖マラソンエントリー人数 3,171人 令和6年9月15日（日）の開催に向けて準備を進めていたが、令和6年7月の豪雨によりコース上に土砂が流出した。安全な開催が難しいと実行委員会にて協議・判断し、中止となった。エントリーは進んでいたが全額返金とした。
				○スポーツ協会事業補助金 各競技団体の組織体制確立や活動を通じたスポーツの普及振興及びスポーツ環境の整備・拠点づくりを促すため、スポーツ協会への支援を行う。	○スポーツ協会事業費補助金 2,160,000円 ・令和6年度スポーツ協会会員数 1,149人 ・加盟団体数 28団体 ・主催事業数 7事業（11回） 仙北市スポーツ賞をはじめ、秋田ノーザンハピネッツバスケットボールクリニックや仙北市陸上競技大会、市民スキー大会などの事業を通してスポーツの普及振興を行った。
				○スポーツ少年団本部補助金 子どもたちが安全に楽しくスポーツ活動ができる環境を整備するため、スポーツ少年団への支援を行う。	○スポーツ少年団本部補助金 1,800,000円 ・仙北市スポーツ少年団 20単位団 395人 ・大会派遣費 10件 各種競技上位大会出場時や全国スポーツ少年大会へ出場の際に、大会派遣費補助金を交付し、スポーツ少年団の育成に取り組んだ。
				○第51回東北総合スポーツ大会補助金 同大会にて仙北市を会場として行う馬術競技に係る運営を支援する。	○第51回東北総合スポーツ大会補助金 2,000,000円 令和6年7月12、13日の日程で、仙北市馬術競技場を会場に、東北各県から選手・監督等50名、馬匹34頭が参加し、東北総合スポーツ大会馬術競技が行われた。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
				○社会体育施設管理運営事業 市民が誰でも気軽に安心してスポーツに親しむことができる環境を整備し、かつ機能の充実を図るため、市内各施設において必要な改修、整備を行う。	○社会体育施設管理運営費 41,511,210円 ・市民体育館管理運営費 6,114,124円 ・武道館管理運営費 910,160円 ・市民野球場管理運営費 623,125円 ・馬術競技場管理運営費 5,648,157円 ・落合運動施設管理運営費 11,751,172円 ・健康増進施設管理運営費 2,299,910円 ・生保内公園運動施設管理運営費 9,412,630円 ・玉川河川公園管理費 4,751,932円 施設の改修や、維持管理を行い、安心してスポーツを楽しむことのできる環境整備に務めた。
				○給食材料費 小学6年生、中学3年生を対象に、思い出に残る特別な給食を実施。通常の給食費に一人当たり324円を加えて実施する。	○給食材料費 94,215,368円 ・スペシャル給食（卒業児童生徒対象） 123,768円 ・2月28日 角館小学校 74人 ・2月27日 白岩小学校 15人 ・2月18日 生保内小学校 36人 ・12月24日 神代小学校 28人 ・12月18日 西明寺小学校 19人 ・2月25日 桧木内小学校 13人 計 185人 ・12月13日 角館中学校 94人 ・2月7日 生保内中学校 36人 ・12月4日 神代中学校 27人 ・1月29日 西明寺中学校 24人 ・12月20日 桧木内中学校 16人 計 197人 合計 382人 卒業前の児童生徒へお祝いの意味を込めて、思い出に残る学校給食を提供し喜んでもらうことができた。

(2) 国民健康保険特別会計（事業勘定）

5 款 保 健 事 業 費 2 項 保 健 事 業 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
7,299,000	5,965,564	0	1,333,436	○人間ドック助成費 国民健康保険被保険者の人間ドックに係る費用の一部（上限21,000円）を助成する。	○人間ドック助成費 3,045,000円 ・人間ドック受診者数 145人 ・助成費 @21,000円×145人 3,045,000円 令和5年度の実績が154人であったのに対し、令和6年度は145人の実績であった。

(3) 国民健康保険特別会計（神代診療施設勘定）

2 款 医 業 費 1 項 医 業 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
6,593,000	5,642,134	0	950,866	○医業費 公衆衛生の向上及び増進に努める。	○医業費 5,642,134円 ・診療日数 190日 患者数 4,097人 1日平均 21.56人 令和5年度患者数 4,337人 令和6年度患者数 4,097人 △240人 患者数は減少しているが、地域における医療の確保、健康の保持・増進に寄与している。

(4) 介護保険特別会計

1 款 総 務 費 1 項 施 設 管 理 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
390,974,000	381,717,800	0	9,256,200	○一般管理費（老健にしき園） 利用者が安全に快適にサービスを受けられるよう施設や機器の維持管理を行う。	○一般管理費（老健にしき園） 102,174,057円 ・にしき園照明器具LED化更新工事（第1期） 11,825,000円 ・施設管理機器・備品修繕料 1,952,763円 ・機械類保守点検等業務委託料 9,707,245円 ・介護システム、送迎車両等賃借料及び使用料 5,978,057円 施設・設備等の修繕や更新により、利用者が安全・快適に過ごすことができ、介護従事者の負担軽減にもつながった。
				○にしき園DX推進事業費 施設職員の疲労軽減と作業効率の向上に繋げ、入所者により手厚いケアを提供する。	○にしき園DX推進事業費 3,134,269円 ・ヘルスケアDX拠点化維持管理業務委託料 2,587,200円 ・需用費 403,519円 ・備品購入費 143,550円 DX化により職員の情報連携や共有がスムーズに行われ、入所者に対する介助時間をより多く確保する事ができた。

2 款 サービス事業費 2 項 施設サービス事業費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
91,780,000	86,728,222	0	5,051,778	○利用者サービス事業費（老健にしき園） 入所利用者個々のサービス計画に基づき、介護や健康管理、リハビリ等に努め、在宅復帰等地域のニーズにあったサービスを行う。	○利用者サービス事業費（老健にしき園） 86,728,222円 ・紙おむつ等介護用品費 9,087,065円 ・医薬品代 12,000,777円 ・給食業務委託料 55,585,381円 ・寝具等賃借料 2,985,400円 ・入所利用者数 34,139人/年 1日平均 93.53人 （内短期入所者数 214人/年 1日平均 0.59人） 入所利用者の心身機能の維持・回復、家庭介護の負担軽減に寄与した。

(5) 生保内財産区特別会計

4 款 諸 支 出 金 3 項 繰 出 金

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
8,395,000	6,023,000	0	2,372,000	○一般会計繰出金	○一般会計繰出金 6,023,000円 ・農林業振興資金運営費分 6,000円 ・農林業振興資金利子補給費分 165,000円 ・生保内地域水利確保用電気料分 70,000円 ・土地情報システム使用保守料分 686,000円 ・地域振興事業費補助金分(4件) 2,950,000円 ・集落支援事業費補助金分(6件) 650,000円 ・集落会館改修費補助金分(1件) 720,000円 ・生保内財産区管理会委員選挙費分 776,000円 各種事業に繰出することにより、財産区地域住民の福祉の向上に寄与した。

(6) 田沢財産区特別会計

3 款 財 産 費 2 項 造 林 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
12,101,000	12,083,280	0	17,720	○直営造林保育費 適切な保育管理を行い、良質材の生産に努める。	○直営造林保育費 4,119,681円 ・潟前地区育成天然林改良 3.00ha 2,899,600円 ・大深地区作業道整備 150m 1,120,081円 地域住民の要望に応じて、天然林改良として薪材及びほだ木の生産を実施し、地域住民の福祉の向上に寄与した。 財産区所有の作業道を整備することにより、作業全体の効率化を図ることができる。
				○森林整備センター造林保育費 森林の持つ公益的機能の重要性が叫ばれる中、適正な保育管理を行い、水源林の造成に努める。 森林の適正な保育管理を行うため、作業道を整備し効率的な作業に努める。	○森林整備センター造林保育費 4,416,374円 ・大深1造林地下刈(1) 14.77ha 2,935,900円 ・大深1造林地除伐(1) 4.96ha 1,331,338円 森林整備センターの管理計画により、適切な保育管理を実施した。 ○森林整備センター造林作業道整備費 3,547,225円 ・大深4造林地作業道補修 443m 2,956,000円 作業道の破損箇所を復旧することで、下刈り等の作業の効率化につながった。

4 款 諸 支 出 金 2 項 繰 出 金

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
1,820,000	1,479,000	0	341,000	○一般会計繰出金	○一般会計繰出金 1,479,000円 ・農林業振興資金運営費分 6,000円 ・農林業振興資金利子補給費分 34,000円 ・地域振興事業費補助金分（2件） 974,000円 ・集落支援事業費補助金分（2件） 200,000円 ・集落会館改修費補助金分（1件） 265,000円 各種事業に繰出することにより、財産区地域住民の福祉の向上に寄与した。

(7) 雲 沢 財 産 区 特 別 会 計

3 款 財 産 費 1 項 財 産 管 理 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
3,233,000	2,870,272	0	362,728	○造林保育事業費 森林資源の質的充実に向けた森林環境整備の促進を図る。	○造林保育事業費 2,870,272円 ・下延明通り地内搬出間伐業務委託料 2,601,500円 角館町下延明通り地内 4.32ha 搬出間伐事業を実施し、森林資源の質的充実に向けた森林環境整備を促進した。